

公園利用者アンケート調査結果



目 次

I. アンケート調査の概要.....	1
II. アンケート調査結果（中学生以上）.....	2
III. アンケート調査結果（小学生）.....	29
IV. アンケート調査結果の総括.....	45

令和8年4月

四国中央市 都市整備部 都市計画課

I. アンケート調査の概要

1. 調査目的

市民の公園利用の実態と満足度を把握するとともに、公園施設や環境に対するニーズを明らかにし、今後の公園づくりの基礎資料とすることを目的として実施。

2. 調査対象

市民及び市内公園利用者

・小学3～6年生を対象とした様式と、中学生以上を対象とした様式の2種類を用いて実施。

3. 調査期間

令和7年12月22日～令和8年2月18日

4. 調査方法

①インターネットによる調査

- ・市ホームページ、公式LINEにアンケートフォームへのリンクを掲載
- ・市内公園に二次元コードを掲載した看板を設置
- ・市内小・中・高等学校、保育施設等への二次元コード配布

②アンケート用紙による調査

- ・公民館等の公共施設に回収ボックス、アンケート用紙を配布

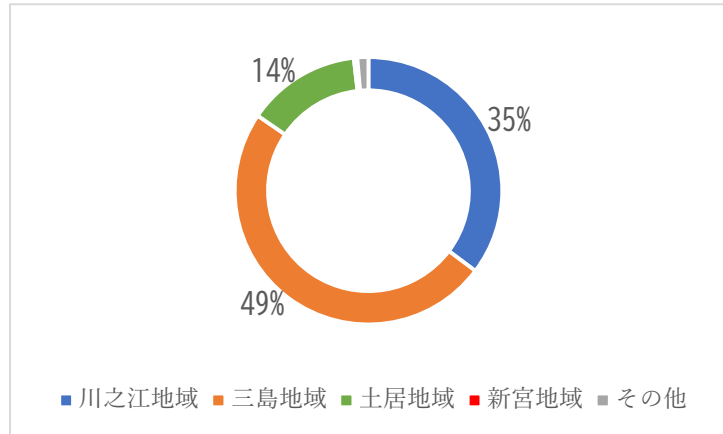
5. 回答件数

中学生以上	3720件
小学生(3～6年生)	1389件
合 計	5109件

Ⅱ. アンケート調査結果(中学生以上)

1. お住まいの地域を教えてください。

川之江地域	1311
三島地域	1831
土居地域	513
新宮地域	16
その他	49
計	3720

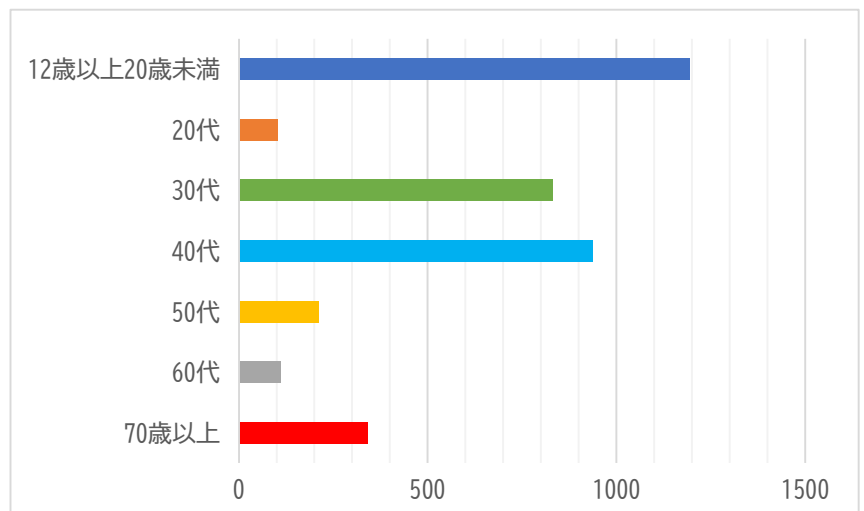


回答者数は伊予三島地区が最も多く、次いで川之江地区、土居地区の順でした。市の人口比（川之江約 39.6%、伊予三島約 41.5%）と照らすと、概ね人口構成に沿った回答が得られています。

市内全域からバランスよく意見が集まっており、このアンケート結果は四国中央市全体の市民の意向を反映したものとして、信頼性の高いデータであると判断できます。

2. 年齢層を教えてください。

12 歳以上 20 歳未満	1193
20 代	102
30 代	831
40 代	936
50 代	209
60 代	109
70 歳以上	340

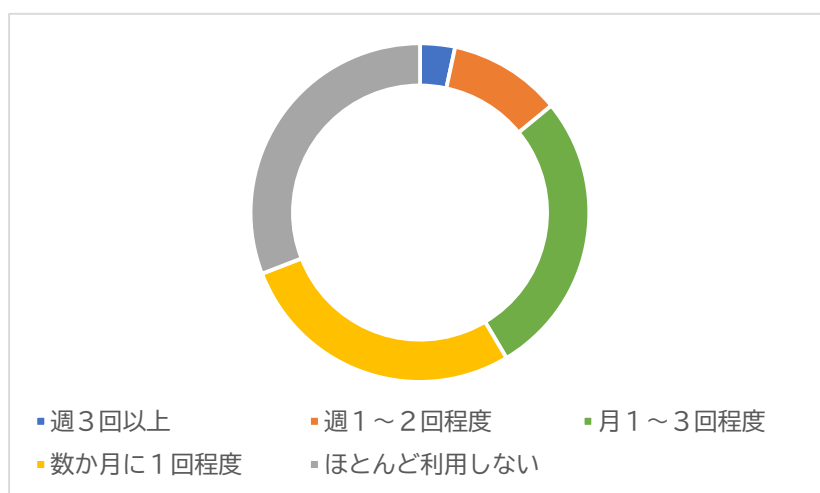


30 代が 22.3%、40 代が 25.1%で、両年代で全体の約 47.4%と 30～40 代の子育て世代からの回答が多く得られました。

このアンケートは、主に小学生の子どもを持つ「保護者」の視点から見た公園への評価や要望が強く反映されていると考えられます。公園整備を考える上で、最もアクティブな利用者層の意見として重要な指標となります。

3. 公園を訪れる頻度はどのくらいですか？

週3回以上	124
週1～2回程度	402
月1～3回程度	1016
数か月に1回程度	1029
ほとんど利用しない	1149

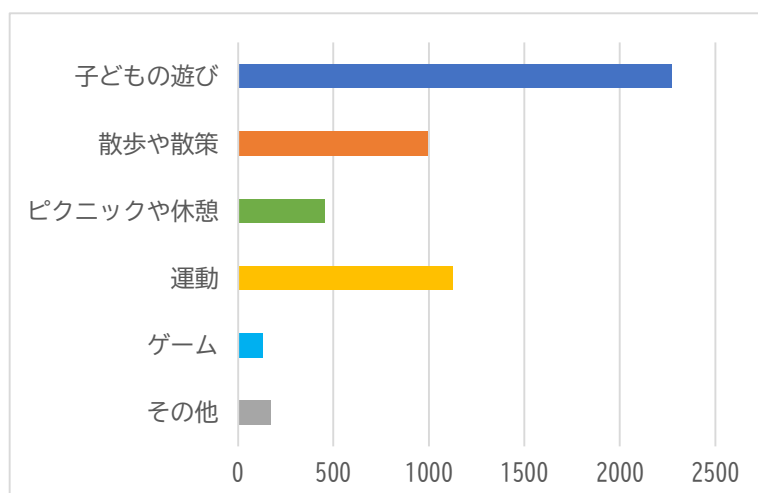


「週に1回以上」利用する層は14.1%にとどまり、「数か月に1回程度」(27.6%)と「ほとんど利用しない」(30.8%)を合わせると約6割(58.4%)を占め、多くの市民は公園を日常的に利用しているわけではないことが分かりました。

公園が「わざわざ行く場所」になっておらず、日常的な憩いの場や遊び場としての魅力が十分に発揮できていない可能性があることがわかりました。また、利用頻度を高めるには、公園に行く明確な「目的」となるような魅力ある要素が必要であると考えられます。

4. 公園を訪れる目的を教えてください。(複数選択可)

子どもの遊び	2271
散歩や散策	991
ピクニックや休憩	454
運動	1122
ゲーム	130
その他	172



「子どもの遊び」が2,271件で突出して最も多く、次いで「運動」(1,122件)、「散歩」(991件)と続きます。公園を利用する最大の目的は「子どもを遊ばせること」でした。

回答者の多くが「自分のため」よりも「子どものため」に公園を利用しており、保護者目線での公園づくりが重要であることが裏付けられました。同時に、健康増進を目的とする成人層も一定数いるため、多様な世代が共存できる空間づくりが求められていることがわかります。

5. 市内または市外で好きな公園の名前とその理由を教えてください。(いくつでも)

本調査において、「好きな公園（市内）」としてご回答いただいた結果は、次のとおりとなりました。

○市内

順位	公園名	件数
1	浜公園	637
2	三島公園	570
3	伊予三島運動公園	475
4	やまじ風公園	207
5	森と湖畔の公園	142
6	寒川潮騒公園	99
7	川之江ふれあい交流センター	89
8	新田公園	43
9	城山公園	40
10	向山公園	40
11	住吉公園	38
12	関川河川敷ふるさと広場	31
13	西川原公園	21
14	中央広場公園	17
15	江之元公園	15
16	すすきが原公園	6
17	港記念公園	4

○市外

順位	公園名	所在地	件数
1	滝の宮公園	新居浜市	450
2	まんのう公園	まんのう町	122
3	山根公園	新居浜市	40
4	黒島海浜公園	新居浜市	35
5	一の宮公園	観音寺市	34
6	ふれあいパークみの	三豊市	22
6	マリンパーク新居浜	新居浜市	22
8	丹原総合公園	西条市	17
9	ヤドン公園	綾川町	15
10	さぬきこどもの国	高松市	13

回答数が特に多かった市内・市外それぞれの上位 5 公園について、その「好きな理由」として挙げられた主な内容を報告します。

(1)市内

【1位】浜公園

近年のリニューアルについて、「遊具の魅力」と「スポーツ機能」が主な理由として挙げられています。

<好きな理由 1 位：遊具の魅力> (91 件)

「新しく清潔である」「複合遊具が面白い」等の意見が多数を占め、特に児童から主な理由として挙げられています。

<好きな理由 2 位：スポーツ・運動機能> (48 件)

「バスケットボールコート」の存在を挙げる意見が突出しており、市内の他公園にはない点として、若者層から理由に挙げられています。

<その他の主な理由>

「家から近い」といったアクセスの良さに加え、「海が見える景観」「親の目が届きやすい規模感」「清潔なトイレ」など、快適性や安全性に関する理由も挙げられました。

【2位】三島公園

市民に永く親しまれてきた歴史的背景と、その空間的特徴が理由として挙げられています。

<好きな理由 1位：遊具の魅力>（88件）

「タコの滑り台が楽しい」という象徴的な遊具への愛着を示す声が特に多く見られました。その他、「遊具が豊富・新しい」「面白い」「幅広い年齢の子が遊べる」といった理由が多数を占めています。

<好きな理由 2位：公園の広さ・解放感>（51件）

「広大な芝生広場」が最大の理由として挙げられており、「ピクニックやボール遊びに適している」など、自由度の高い利用が可能な点を理由として挙げる声が多数でした。

<その他の主な理由>

「桜の名所」としての景観や、「子供の頃から利用している」といった市民の原体験に根差した親しみも、好きな理由として挙げられています。

【3位】伊予三島運動公園

市民の健康増進活動を支える中核施設としての機能が、理由として多く挙げられています。

<好きな理由 1位：運動・スポーツ機能>（89件）

「ウォーキングや散歩、ジョギングに最適」「ボール遊びやサッカーができる」「自転車の練習ができる」といった、具体的な運動やスポーツの場としての利用に関する理由が最も多く挙げられました。「テニスコートやプールがある」などの施設の存在も理由として挙げられています。

<好きな理由 2位：広さ・解放感>（43件）

「広々としていて走り回れる」といった、公園の広さに関する理由が非常に多く見られました。この広さを活かして、「風揚げができる」「のびのび遊べる」といった点も評価されています。

<その他の主な理由>

立地や駐車場からのアクセスの良さに加え、園内のバラ園をはじめとする美しい景観や自然環境についても理由として挙げられました。

【4位】やまじ風公園

立地特性と大型のローラー滑り台が人気の理由として挙げられています。

<好きな理由 1位：遊具の魅力>（95件）

理由の大半を占め、中でも公園の代名詞である「長いローラー滑り台」を理由に挙げる声が63件と突出し、他の公園にはない点として挙げられています。

<その他の主な理由>

高台からの「眺望の良さ」や、散策に適した「自然環境」も理由として挙げられました。

【5位】森と湖畔の公園

湖畔の景色や豊かな自然環境下でレクリエーションができる点が理由として挙げられています。

<好きな理由 1位：豊かな自然と美しい景観>（52件）

「湖畔の風景」や「四季折々の自然」を理由に挙げる声が圧倒的多数を占めました。「桜のお花見」や「生き物観察」など、自然とのふれあいを目的とした利用が主な理由となっています。

<好きな理由 2位：個性的で楽しい遊具>（34件）

現在使用禁止となっていますが、大型の網状のロープ遊具など、「他では見られない特徴的な遊具」があることが、理由として挙げられています。

<その他の主な理由>

「ウォーキングや犬の散歩に適している」といった健康増進目的の利用や、「人が多すぎず静かに過ごせる」といった落ち着いた環境を理由として挙げる声もありました。

(2)市外

【1位】滝の宮公園（新居浜市）

多くの支持を集め、特に遊具の充実度と幅広い年齢層への対応が理由として挙げられています。

<好きな理由 1位：遊具の圧倒的な魅力>（151件）

「大型・複合遊具が豊富」「新しく清潔である」といった意見が多数を占めました。特に、「全身を使って遊べるアスレチック要素」や「他にはない珍しい遊具」があることが、主な理由として挙げられています。

<好きな理由 2位：自然・散歩・生き物>（41件）

「池の周りを散歩できる」「桜や紅葉など季節の風景が楽しめる」といった自然環境に関する理由が多く挙げられました。また、「鯉やカモに餌やりができる」「動物がいる」など、生き物とのふれあいを理由とする声も目立ちました。

<その他の主な理由>

「敷地の広さ」や駐車場の利便性など、快適な滞在を支える環境も理由として挙げられています。

【2位】まんのう公園（まんのう町）

国営公園ならではの広大なスケールと、多彩なアクティビティが理由として挙げられました。

<好きな理由 1位：圧倒的な広さと解放感>（25件）

「とにかく広い」という国営公園ならではの規模感が最大の理由として挙げられており、広大な芝生広場で伸び伸びと遊べる点や、混雑を感じにくい快適さも理由として挙げられています。

<好きな理由 2 位：一日中楽しめる多彩な遊具>（23 件）

「遊具が充実している」ことが理由として挙げられています。特に、天候を問わず楽しめる屋根付きの「ふわふわドーム」は、公園を象徴する遊具として、その名前を挙げる声が多くありました。

<その他の主な理由>

冬期に開催されるイルミネーションや音楽フェスティバルといった大規模イベントがあることや、手入れの行き届いた四季折々の花々、安全なサイクリングコース、ドッグランといった多様なアクティビティが豊富な点も、理由として挙げられています。

【3 位】山根公園（新居浜市）

遊具の多様性と、多目的に利用できる自由度の高さが理由として挙げられています。

<好きな理由 1 位：遊具の魅力と多様性>（19 件）

「遊具が多い」ことに加え、「定番遊具から珍しい遊具まで種類が豊富」である点が理由として挙げられました。「遊具がきれい」であることも理由として挙げられています。

<好きな理由 2 位：多目的な利用が可能>（13 件）

遊具遊びだけでなく、「ボール遊びができる広場」「散歩や自転車練習ができるコース」「ピクニック」など、利用者が思い思いの時間を過ごせる点が理由として挙げられています。

<その他の主な理由>

「敷地の広さ」に加え、「駐車場の多さ」や「休憩スペースの整備」といった利便性、「幅広い年齢層で楽しめる」点も理由として挙げられました。

【4 位】黒島海浜公園（新居浜市）

海辺のロケーションと、スポーツも楽しめる多目的性が特徴です。

<好きな理由 1 位：充実した遊具と遊びの多様性>（15 件）

「遊具が豊富」であること、特に「大きな滑り台」があることが理由として挙げられています。「大きい子から小さい子まで遊べる」という、対応年齢の広さも理由として挙げられました。

<好きな理由 2 位：海辺のロケーションと美しい景観>（12 件）

「海に隣接した開放的な景色」が理由として挙げられており、他の公園にはない特別な点であることが言及されています。

<その他の主な理由>

「バスケットゴール、スケートパークがある」というスポーツ利用や、「桜のお花見」など、遊具遊び以外の多様な楽しみ方も理由として挙げられています。

【5 位】一の宮公園（観音寺市）

海辺の環境を最大限に活かした、レジャー性の高さが理由として挙げられています。

<好きな理由 1 位：海と砂浜に隣接した最高のロケーション>（18 件）

「砂浜で遊べる」「夏は海水浴もできる」など、海辺ならではの多様な活動ができる点が、主

な理由として挙げられています。

<好きな理由 2 位（同率）：広大な芝生と解放感>（16 件）

「広くてきれいな芝生」でのびのびと遊べる点や、利用者が多くても「混雑しない」快適さが理由として挙げられています。

<好きな理由 2 位（同率）：遊具の魅力と独自性>（16 件）

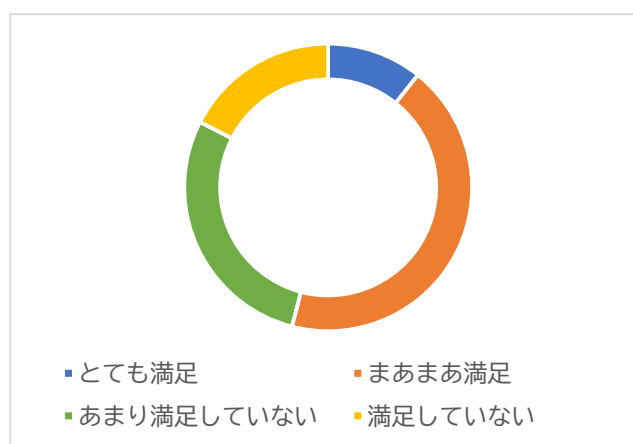
彫刻家イサム・ノグチ氏がデザインした「ユニークで面白い遊具」があることは、本公園ならではの特別な点として理由に挙げられています。

<その他の主な理由>

「キャンプ」や「バーベキュー」ができる多目的性に加え、「駐車場の多さ」や「子どもを見守りやすい」設計など、家族連れの利便性・安全性も理由として挙げられています。

6. 現在の遊具に満足していますか？

とても満足	373
まあまあ満足	1508
あまり満足していない	991
満足していない	608

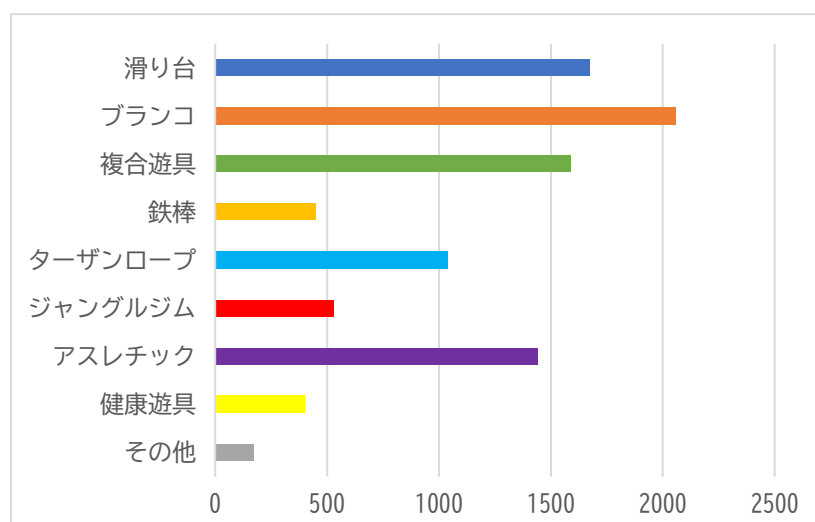


「満足（とても＋まあまあ）」が54.1%、「不満（あまり＋全く）」が45.9%と、評価が拮抗しており、現在の遊具に満足している層と不満を持つ層が、ほぼ半々で存在します。

子どもを遊ばせる保護者の視点から、遊具の種類・数・安全性・老朽化などに対して、何らかの課題を感じている層が相当数いることを示唆しています。特に、小学生の満足度(75.5%)と比較すると、保護者側の評価が厳しいことが分かります。

7. 自分またはお子さんが好きな遊具、よく利用する遊具はどれですか？（複数回答可）

滑り台	1674
ブランコ	2056
いろいろな遊具がくっついた複合遊具	1589
鉄棒	450
ターザンロープ	1037
ジャングルジム	527
アスレチック (ロープ、ネットなど)	1440
健康遊具	401
その他	172

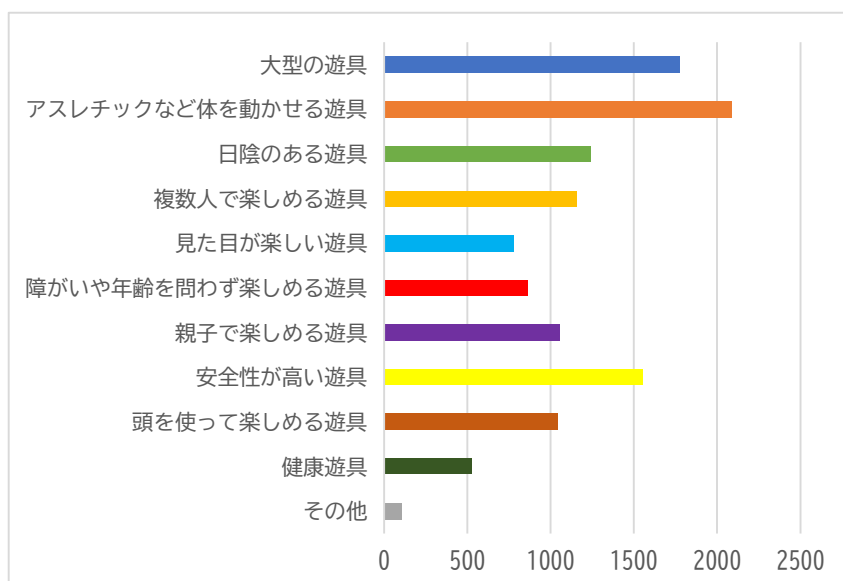


「ブランコ」(2,056件)と「滑り台」(1,674件)が突出して多く、次いで「複合遊具」(1,589件)が続きます。また、大人の利用を想定した「健康遊具」も401件の回答がありました。

保護者から見ても、子どもに人気があるのは「ブランコ」や「すべり台」といった定番の遊具であることが分かりました。時代が変わっても子どもに愛される普遍的な遊具の重要性が示されています。公園の改修や新設の際には、これらの基本的な遊具を欠かさず設置することが、利用者の満足度を確保する上で基本となると考えられます。また、「健康遊具」への一定の需要は、子どもを遊ばせながら自身の健康増進も図りたいという保護者のニーズの表れであり、多世代が共存する公園づくりのヒントとなります。

8. 新しい遊具について、ご希望を教えてください。(複数回答可)

大型の遊具	1776
アスレチックなど体を動かせる遊具	2086
日陰のある遊具	1240
複数人で楽しめる遊具	1156
見た目が楽しい遊具	780
障がいや年齢を問わず楽しめる遊具	861
親子で楽しめる遊具	1051
安全性が高い遊具	1554
頭を使って楽しめる遊具	1042
健康遊具	526
その他	105



「アスレチックなど体を動かせる遊具」が2086件で最多であり、次いで「大型の遊具」(1,776件)、「安全性が高い遊具」(1,554件)の順となりました。体を大きく使ってダイナミックに遊べる遊具へのニーズが最も高いことが分かりました。

現状の公園には、子どもが思い切り体を動かし、挑戦できるような規模の大きい遊具が不足していると感じられています。「安全性」も上位にあり、保護者として安心して子どもを遊ばせたいという強い意向の表れだと考えられます。

9. 公園で改善してほしい点や不満があれば具体的に教えてください。

(1)市内の公園全体に関する主な意見

①トイレに関する意見(計138件)

今回のアンケートで、他の項目を大きく引き離して最も多くの意見が寄せられたのが、公園のトイレに関する課題です。「衛生面」「設備の老朽化」「安全性」の3つの観点から、抜本的な改善を求める切実な声が多数寄せられています。

<寄せられた声の具体例>

【衛生面について】

「トイレの汚れや臭いがひどく、子どもに使わせるのをためらってしまいます。もっと清潔に管理してほしいです。」

【設備面について】

「和式トイレは子どもが苦手なため、洋式トイレを増やしてほしいです。」「おむつ交換台や、冬場に温かい便座があると、親子で安心して利用できます。」

【安全性について】

「トイレの中が暗く、子どもが怖がります。照明を明るくしたり、死角をなくしたりするなどの防犯対策をお願いしたいです。」

これらの意見から、公園の最も基本的な設備であるトイレが、現状では多くの方、特に子育て世代にとって利用しづらい存在となっている深刻な状況が浮き彫りになりました。

②設備や環境に関する意見（計 115 件）

トイレに次いで、「日除け」や「ベンチ・テーブル」といった休憩スペースの不足に関する意見が多数寄せられました。特に、猛暑となる夏場の公園利用に大きく影響しているとの指摘が中心です。

<寄せられた声の具体例>

「どの公園も日陰が少なく、夏場は遊具が高温になり危険なため、公園に行くことができません。日除けになるような設備が絶対に必要です。」

「子どもを見守る保護者が安心して座れる、日陰のベンチを増やしてほしいです。」

「お弁当や軽食をとれるテーブルと椅子のセットが、公園にほとんどありません。」

保護者の方々が安心して子どもを見守り、快適に過ごせる環境が不足している点が、公園の利用満足度を大きく下げの一因となっていることがわかります。

③遊具に関する意見（計 84 件）

遊具については、「種類や数の不足」「対象年齢の偏り」「リニューアル後の魅力低下」といった観点から、改善を求める声が多く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「市内に小学生が思いっきり楽しめるような、魅力的な公園がありません。そのために市外の公園まで遊びに行くことが多いです。」

「安全性を重視するあまり、子どもたちが物足りなさを感じる遊具ばかりになっている印象です。」

「リニューアルで遊具が以前より小さくなってしまい、かえって魅力が減ってしまったと感じる公園もあります。」

子どもたちが心から楽しめ、特に体を動かしたい小学生が満足できるような、魅力あふれる遊具環境が求められていることが強く示唆されました。

④利用ルールや管理体制に関する意見（計 97 件）

ペットの利用、喫煙マナー、ボール遊びといった「多様な利用者間のルール」や、除草、清掃、防犯といった「日常的な管理体制」についても、多くの意見がありました。

<寄せられた声の具体例>

【ルールについて】

「ペットと一緒に散歩できる公園を増やしてほしい。」「子どもの健康のため、公園は全面禁煙にしてほしい。」「キャッチボールなどができる場所を確保してほしい。」

【管理について】

「雑草が伸び放題になっている公園が見受けられます。」「ゴミが落ちていることがあるので、定期的な清掃をお願いします。」「安全のために防犯カメラを設置してほしいです。」

すべての利用者が快適かつ安全に過ごせるよう、明確なルール作りと、きめ細やかな維持管理の徹底が課題であることがわかりました。

⑤まとめ

今回のアンケート結果から、市内の公園は、公園の根幹をなす次の３要素において、市民の皆様の期待に十分に答えられていない現状が明確になりました。

- ・誰もが安心して使える、清潔で現代的なトイレ環境の整備
- ・夏場でも快適に過ごせる、日除けや休憩スペースの確保
- ・子どもたちが夢中になれる、特に小学生が満足できる魅力ある遊具の充実

(2)市内各公園に関する主な意見

《伊予三島運動公園》

① 遊具のリニューアルに関する意見（計 43 件）

最も多くの意見が集中したのが、リニューアルされた遊具についてです。特に、「新しい遊具が低年齢向けになり、小学生が満足して遊べるものがなくなった」という意見が大多数を占めました。

<寄せられた声の具体例>

「以前あった大きな滑り台やアスレチック遊具は、子どもたちの挑戦心をくすぐる素晴らしいものでした。なぜ無くしてしまったのですか。」

「今の遊具は幼児向けで、小学生の子どもたちはすぐに飽きてしまいます。結果的に、公園へ行きたがらなくなりました。」

「市内で一番期待していた公園なのに、遊具がスケールダウンしてしまい残念です。」

「もっと体を思いきり動かせる、アスレチック要素の強い遊具を設置してほしいです。」

これらの意見から、伊予三島運動公園が、幅広い年齢の子どもたちが集い、多様な遊びに挑戦できる「市の顔となる公園」であってほしいという、市民の皆様の強い期待があることがわかりました。

②トイレの衛生面・設備に関する意見（計 20 件）

遊具に次いで多かったのが、トイレに関する意見です。衛生面や設備の老朽化、そして子育て世代の利便性について、改善を求める切実な声が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「古い、汚い、臭いが気になる」といった衛生面に関する指摘が最も多く寄せられました。
「和式トイレが多く、小さな子どもが使えません。すべて洋式に改修してほしいです。」
「おむつ交換台やベビーキープ（乳幼児用の椅子）が不足しており、乳幼児を連れての利用が大変です。」
「週末は利用者が多く、トイレに行列ができていました。数を増やしてほしいです。」

多くの人が利用する公園だからこそ、幅広い年代の方々が安心して快適に使えるトイレ環境の整備が強く求められていることがわかりました。

③駐車場や利用マナーに関する意見（計5件）

【駐車場について】

多目的グラウンド等での大会開催時に、公園利用者の駐車スペースが不足する問題を指摘する声がありました。

【喫煙マナーについて】

子どもへの受動喫煙を懸念する声から、公園内の禁煙の徹底や、より踏み込んだ対策を望む意見がありました。

④まとめ

今回のアンケート結果から、伊予三島運動公園は、多くの市民から期待を寄せられている一方で、特に「小学生以上の子どもが満足できる遊具の不足」と「誰もが快適に利用できるトイレ環境の未整備」という2点が、利用者満足度向上のための大きな課題であることが明らかになりました。

《三島公園》

①駐車場・アクセスに関する意見（計18件）

最も多くの意見が集中したのが、駐車場不足と公園までのアクセスに関する課題です。「行きたくても行けない」という切実な声が多数寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「週末はいつも駐車場が満車で、停められずに諦めて帰ることが多いです。」
「急な坂道は、小さな子ども連れやベビーカー、高齢者には大変な負担です。もっと安全に、楽に登れるようにならないでしょうか。」
「公園へ向かう道が狭く見通しが悪いため、車での訪問をためらってしまいます。歩行者の安全も心配です。」

これらの意見から、公園の魅力を十分に活かすためには、誰もが安全かつ快適に訪れることができるアクセス環境の整備が、最優先で取り組むべき課題であることがわかりました。

②遊具に関する意見（計 9 件）

公園のシンボルである「タコの滑り台」に愛着を持つ声とともに、遊具のバリエーションや安全性に関する意見が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「タコの滑り台は楽しいですが、角度が急で小さな子どもには少し危なく感じます。」

「小学生以上の子どもたちが、もっと体を動かして思い切り遊べるようなアスレチック遊具がほしいです。」

「遊具が点在していて、子どもから目が離せないため、見守りが大変です。」

シンボルを大切にしながら、年齢を問わず安全に楽しめる遊具の充実と、保護者が見守りやすい環境づくりが今後の課題であることがわかりました。

③トイレの衛生面・設備に関する意見（計 8 件）

他の公園と同様に、トイレの老朽化や衛生面に関する改善要望が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「トイレが古く全体的に暗いため、子どもが一人で行くのを怖がります。」

「和式トイレは使いづらいので、洋式化を進めてほしいです。」

「虫が多く、清潔感に欠けるため利用をためらってしまいます。」

これらの意見から、誰もがためらうことなく利用できる、明るく清潔なトイレ環境の整備が課題であることがわかりました。

④公園の管理・設備に関する意見（計 7 件）

公園でより快適に過ごすための環境整備について、具体的な要望がありました。

<寄せられた声の具体例>

「夏場は日差しを遮る場所がほとんどなく、長時間滞在できません。屋根付きの休憩所や木陰がほしいです。」

「手入れが行き届いていない場所があり、草木が伸び放題になっているのが気になります。」

「近くに自動販売機などがなく不便です。設置を検討してほしいです。」

これらの意見より、日除けとなる休憩施設の設置といった熱中症対策、こまめな維持管理による景観・衛生面の向上、利便性を高める設備の導入など、ハード・ソフト両面からの改善が必要であることがわかりました。

⑤まとめ

今回のアンケート結果から、三島公園は、市民に愛されるシンボリックな存在である一方、「不便なアクセス（駐車場・道のり）」が、利用の大きな障壁となっていることが明らかになりました。加えて、「点在する遊具」「トイレの老朽化」「日除けなど休憩設備の不足」といった課題についても、改善を望む声が上がっています。

《浜公園》

①設備に関する改善要望（計 17 件）

最も多くの意見が寄せられたのが、公園内の設備についてです。特に、夏場の快適性や日陰の不足について、改善を求める声が集中しました。

<寄せられた声の具体例>

「浜公園は日陰が全くないので、夏場は暑すぎて長時間遊ぶことができません。屋根のある休憩場所がほしいです。」

「木陰や、日除けのあるベンチを増やしてほしいです。子どもを見守る保護者にとって、夏の暑さは大変です。」

「バスケットコートは利用者が多くいつも混み合っているなので、もう 1 面増やしてもらえると嬉しいですよ。」

これらの意見から、特に気候の厳しい季節において、小さな子ども連れの保護者をはじめ、すべての利用者が快適に過ごせる環境整備が求められていることがわかりました。

②安全性に関する意見（計 10 件）

公園が人気であるからこそ、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊ぶことで生じる安全面での懸念について、多くの意見が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「小学生くらいの子どもたちが遊具の周りで走り回っていると、小さなお子さんとぶつかりそうでヒヤヒヤすることがあります。」

「活発に遊ぶ大きいお子さんと、小さなお子さんの利用エリアを分けるなど、安全への配慮をお願いしたいです。」

「丘の上から道路へ子どもが飛び出さないか心配です。道路沿いに安全柵を設置してほしいです。」

幅広い年代に利用されている人気の公園だからこそ、遊具エリアのゾーニング（区分け）や一か所に子どもたちが集中しない工夫、安全柵の設置など、誰もが安心して過ごせるための物理的な安全対策が必要であることがわかりました。

③環境・マナーに関する意見（計３件）

その他、公園の環境や利用マナーに関する意見が寄せられました。

ゴミのポイ捨てやタバコの吸い殻、夜間の騒音など、公園を誰もが気持ちよく利用するためのマナーについて、改善を求める意見が寄せられました。

④まとめ

今回のアンケート結果から、浜公園は地域住民の方々にとって身近な憩いの場として親しまれている一方で、特に「日陰などがなく夏場に過ごしにくい」という快適性の課題と、「年齢の異なる子どもたちが混在することによる安全面の懸念」という２点が、より快適で安全な公園にしていくための重要な課題であることが明らかになりました。

《やまじ風公園》

①遊具に関する意見（計９件）

最も多くの意見が寄せられたのが遊具についてです。特に、「新しい遊具が低年齢向けになり、小学生が満足できるものが減った」という意見が目立ちました。

<寄せられた声の具体例>

「小学生向けの遊具が減り、子どもたちが物足りなさを感じています。」

「安全性を重視するのは理解できますが、挑戦する楽しさのある遊具が少なくなったように感じます。」

「新しい遊具を設置していただいたのは嬉しいですが、遊具の周りの地面が石だらけで、転んだ時に危ないと感じます。」

これらの意見から、リニューアルにあたっては、安全性の確保と同時に、遊び盛りの子どもたちが満足できるような、魅力ある遊具が求められていることがわかりました。

②安全性・野生動物に関する意見（計６件）

遊具に次いで、野生動物、特に猿の出没に対する不安や危険性について、多くの意見が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「公園で多くの猿に遭遇し、子どもを連れていたので危険を感じました。」

「猿が頻繁に現れるため、子どもを安心して遊ばせることができません。具体的な対策をお願いします。」

「ローラー滑り台などの遊具に猿のフンが落ちていることがあり、衛生的にも心配です。定期的な清掃を強化してほしいです。」

注意喚起の看板だけでなく、利用者が安心して過ごせるための巡回や清掃の強化など、より具体的な対策を望む声が上がっています。

③公園の管理や設備に関する意見（計10件）

その他、公園の日常的な管理体制や設備に関する、具体的な改善要望がありました。

<寄せられた声の具体例>

【管理体制】

「草刈りや木の剪定が十分でない箇所があり、景観が気になります。」

「夏場に遊具が高温になり、火傷が心配です。」

【設備】

「トイレをより清潔で使いやすくしてほしいです。」

「人気のターザンロープを増やしてほしいです。」

【駐車場】

「スポーツイベント開催時に満車となり、公園利用者が駐車できないことがあります。」

④まとめ

今回のアンケート結果から、やまじ風公園は、市内でも特徴的な公園として期待されている一方で、「小学生以上の子どもが満足できる遊具の不足」と、「猿の出没に代表される安全性や日常的な管理への不安」という2点が、利用者満足度向上のための大きな課題であることが明らかになりました。

≪関川河川敷ふさと広場≫

①遊具に関する意見（計5件）

最も多くの意見が寄せられたのが、遊具についてです。「広大な敷地に対して、遊具が少なすぎる」という点が、共通した意見でした。

<寄せられた声の具体例>

「公園の広さに比べて遊具があまりにも少ないので、もっと充実させてほしいです。」

「子どもたちがもっと楽しめるように、遊具のリニューアルをお願いします。」

「ふさと広場に、小さい子どもでも安心して遊べる遊具を増やしてほしいです。」

これらの意見から、広々とした恵まれた環境を活かし、子どもたちがより多様な遊びを楽しめるような、遊具の充実が強く望まれていることがわかります。

②設備（特にトイレ）に関する意見（計4件）

遊具に次いで、公園の利便性に関する意見、特にトイレの配置や数に対する改善要望が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「遊具のあるエリアからトイレが遠く、道路を渡らなければならないため、とても不便です。」

「子どもを連れていて、すぐにトイレに行けないのは困ります。遊具エリアの近くに設置して

ほしいです。」

「休憩できるベンチやトイレを増やしてほしいです。」

特に子供連れの利用者が安心して長時間過ごす上で、トイレの利便性の低さが大きな課題となっていることがわかりました。

③公園の管理体制に関する意見（計3件）

その他、公園の日常的な管理体制について、改善を求める意見も寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「一部のエリアは水はけが悪く、雨の後は利用しにくくなっています。」

「落とし物が長期間放置されていることがあるので、定期的な見回りをお願いします。」

④まとめ

今回のアンケート結果から、関川河川敷ふろさと広場は、その広大な敷地という魅力を十分に活かしきれていない現状が浮き彫りになりました。

特に、「広大な敷地に見合わない遊具の不足」と、「利用しにくいトイレの配置」という2点が、より魅力的な公園にしていくための大きな課題であることが明らかになりました。

《新田公園》

①設備や環境に関する意見（計5件）

最も多くの意見が寄せられたのが、公園内の基本的な設備や環境についてです。特に、夏場の「日陰の不足」や、遊具・スポーツ設備の質について、改善を求める声を中心となりました。

<寄せられた声の具体例>

「新田公園は日陰がほとんどなく、特に夏場は暑すぎて過ごしにくいです。」

「屋根付きのテーブルやベンチがあれば、休憩や水分補給がしやすくなり、大変助かります。」

「夏場は金属製の遊具が高温になり、子どもが火傷しないか心配で使わせられません。」

「テニスコートを、よりプレーしやすいサーフェス（地面）に改修してほしいです。」

これらの意見から、熱中症対策となる日除け設備の設置や、誰もが安全・快適に利用できるための設備改善が求められていることがわかりました。

②公園の管理や利用方法に関する意見（計2件）

少数ながら、公園の日常的な管理体制や、多様な利用者が安心して過ごすための環境づくりに関する意見も寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「サッカーゴールのネットが破れたままになっているので、修理をお願いします。」

「犬の散歩をされている方と、小さな子どもが、お互いに安心して過ごせるように、利用エリアを分けるなどの配慮があると嬉しいです。」

設備の定期的な点検・修繕や、ペットを連れた方とそうでない方が、ともに気持ちよく過ごせるための環境整備が課題であることが分かりました。

③まとめ

今回のアンケート結果から、新田公園は地域住民の皆様に利用されている一方で、「夏場の利用を妨げる日陰の不足など、基本的な快適性の課題」と、「設備の適切な維持管理や、多様な利用者が共存するための環境整備」という2点が、利用者満足度向上のための大きな課題であることが明らかになりました。

《寒川潮騒公園》

①設備や環境に関する意見（計7件）

最も多くの意見が寄せられたのが、公園内の基本的な設備や環境についてです。特に、夏場の快適性向上のための日除けや、手洗い場・トイレといった衛生設備、スポーツ施設の改善を求める声を中心となりました。

<寄せられた声の具体例>

「子どもを見守る保護者のために、日よけのある休憩スペースがほしいです。」

「屋根があり日陰になるベンチを設置してほしいです。」

「バスケットコートが地面が砂利で滑りやすく危険なので、安全にプレーできるよう整備をお願いします。」

「公園内に手洗い場や、より清潔なトイレがあると助かります。」

これらの意見から、特に子供連れの保護者をはじめ、すべての利用者が快適で安全に過ごせる環境整備が求められていることがわかりました。

②遊具に関する意見（計3件）

公園内の遊具について、数が少ないことや、幅広い年齢の子どもたちが楽しめる遊具の設置を望む意見が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「遊具が少なく、子どもがすぐに遊び飽きてしまいます。」

「小学生が思いっきり体を動かして遊べるような、少し大きな遊具も置いてほしいです。」

「幼児でも安全に遊べる、低いすべり台などがあると嬉しいです。」

これらの意見から、幼児から小学生まで、様々な年代の子どもたちが満足して遊べるような、遊具の充実が課題であることがわかりました。

③まとめ

今回のアンケート結果から、寒川潮騒公園は地域住民の皆様にとって身近な憩いの場である一方で、「日陰や手洗い場といった基本的な設備の不足」と、「幼児から小学生まで幅広い年齢層が楽しめる遊具の不足」という2点が、利用者満足度向上のための大きな課題であることが明らかになりました。

《森と湖畔の公園》

①遊具に関する意見（計7件）

最も多くの意見が寄せられたのが、公園のシンボルでもある大型遊具についてです。長期間使用禁止となっている現状へのご不満と、今後の見通しが不透明なことへの不安の声が中心となりました。

<寄せられた声の具体例>

「公園の大きな遊具が今後どうなるのかわからず、心配しています。とても便利な公園なので、ぜひ遊具を復活させてほしいです。」

「大きな遊具が使えなくなっており、子どもががっかりしていました。安全上の理由などは理解できますが、何らかの対策をお願いしたいです。」

「使用できないのであれば、安全のためにも早めに撤去してほしいです。」

「子どもたちが遊べるように、新しい遊具を増やしてほしいです。」

これらの意見から、多くの方が遊具の現状に不安や不満があり、改修やリニューアル、あるいは撤去後の新たな整備計画など、今後の具体的な方針を示す必要性があることがわかりました。

②トイレに関する意見（計3件）

設備の老朽化や機能について、より快適で使いやすいトイレへの改修を求める意見が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「子どもが和式トイレを苦手とするため、洋式トイレを増やしてほしいです。また、冬場に便座が温かいと嬉しいです。」

「男子トイレの入口の構造上、外から中が見えてしまうことがあるため、プライバシーに配慮した改善をお願いします。」

「トイレが古くなっているので、きれいに改修してほしいです。」

特に子ども連れの利用者が安心して使えるよう、洋式化やプライバシーへの配慮など、現代のニーズに合った設備への更新が課題であることがわかりました。

③設備・環境に関する意見（計３件）

公園で快適に過ごすための日除けや休憩スペースの不足について、改善を求める意見が寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「公園全体に日陰が少ないため、日除けになるような設備がほしいです。」

「日差しを気にせず、お弁当などを食べられる屋根付きの休憩スペースがあると嬉しいです。」

④その他の意見

このほか、公園の日常的な管理や、アクセスに関する意見も寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

【管理について】

「公園全体をよりきれいに管理してほしいです。」

【アクセスについて】

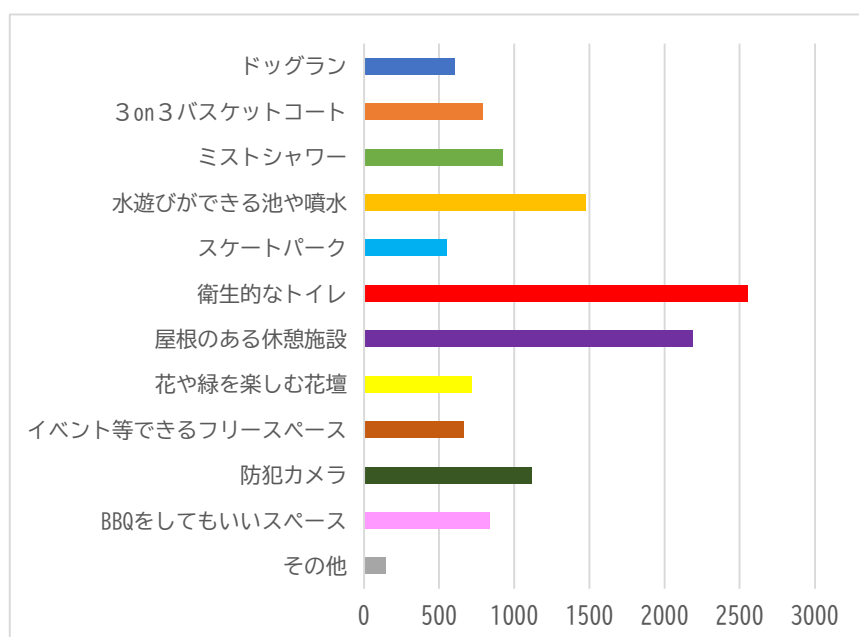
「車がないと行きにくい場所なので、公共交通機関でのアクセスが改善されると助かります。」

⑤まとめ

今回のアンケート結果から、森と湖畔の公園は多くの皆様に期待されている一方で、「シンボルである大型遊具が使用できない状態が続き、今後の見通しが示されていないことへの不安と、「トイレの老朽化や日陰の不足など、来園者が安心して快適に過ごすための基本的な環境整備の遅れ」という２点が、利用者満足度を大きく左右する課題であることが明らかになりました。

10. 公園にあったらいいと思う施設を教えてください。(複数回答可)

ドッグラン	602
3on3バスケットコート	788
ミストシャワー	923
水遊びができる池や噴水	1474
スケートパーク	548
衛生的なトイレ	2551
屋根のある休憩施設	2183
花や緑を楽しむ花壇	715
イベント等できるフリースペース	660
防犯カメラ	1114
BBQをしてもいいスペース	835
その他	146

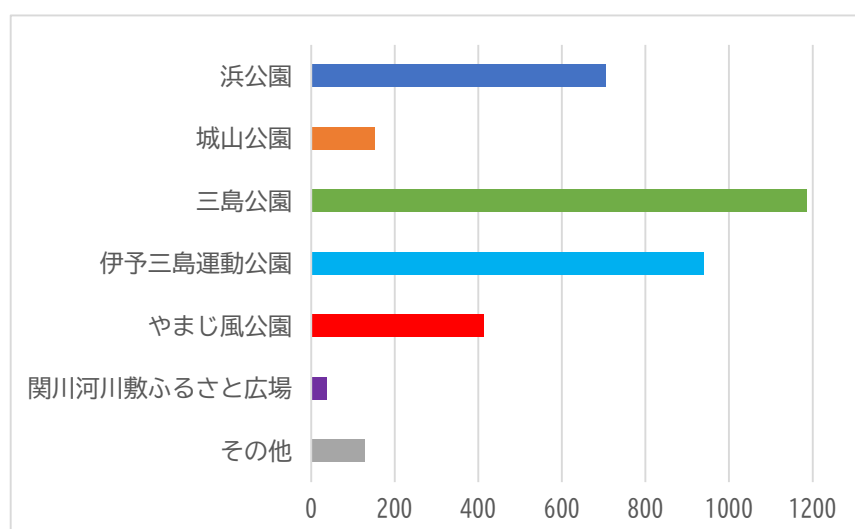


「衛生的なトイレ」が2,551件と圧倒的に多く、次いで「屋根のある休憩施設」(2,183件)、「水遊びができる池や噴水」(1,474件)が続きます。

遊具などの「遊び」の機能以上に、トイレの清潔さといった基本的な環境が、公園の評価や利用意欲に直結していることが明確になりました。また、天候を気にせず休憩できる場所は、小さな子ども連れの滞在時間を延ばす上で重要な要素であると推察されます。

11. 四国中央市の顔と思う公園を一つ教えてください。

浜公園	704
城山公園	151
三島公園	1185
伊予三島運動公園	939
やまじ風公園	412
関川河川敷ふるさと広場	36
その他	128



「三島公園」(1,185件)が最も多く、次いで「伊予三島運動公園」(939件)、「浜公園」(704件)と続く結果となりました。

12. 自由記述

(1) 新しい施設・機能への要望（計：630 件）

市民の皆様からは、「市外の魅力的な施設まで出かけることが多い」という現状を踏まえ、「ぜひ四国中央市に、誰もが楽しめる新しい施設を作してほしい」という、市の未来に向けた強い期待のこもった意見が多数寄せられました。

①屋内・全天候型施設の設置（275 件）

雨の日や暑い日、また「やまじ風」の吹く日など、天候に左右されずに子どもたちが思い切り体を動かせる場所を求める声が、子育て世帯を中心に非常に多く寄せられました。特に、小学生以上の子どもたちが安全に遊べる屋内施設の不足は、重要な課題の一つとして挙げられています。

<寄せられた声の具体例>

「新居浜の『あかがねキッズパーク』や香川の『さぬき子どもの国』にいつも行っています。有料でも良いので、市内に同等の施設を切実に希望します。これは贅沢品ではなく、子育て世帯の必需品です。」

「川之江のふれあいセンターは主に未就学児向けで、小学生になると雨の日の行き場所が本当になくなり、ゲームや YouTube ばかりになってしまいます。」

「体育館のような板張りではなく、人工芝などで遊べる室内公園が理想です。時間制で人が入れ替わる仕組みも良いと思います。」

②大規模で特徴的な屋外遊具の設置（205 件）

現在の公園にある幼児向けの遊具に加え、小学生以上の子どもたちがスリルや達成感を味わえるような、より挑戦的でダイナミックな遊具を望む声が強く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「新居浜の滝の宮公園の長い滑り台や、香川のまんのう公園、高知のバババパークのような大型アスレチックがあれば、市外からも人を呼べるような市の魅力的なシンボルになるはずです。」

「ふわふわドーム（白いトランポリン）やターザンロープは、どこの公園でも大人気なのでぜひ設置してほしいです。」

「市の特色を活かし、製紙工場の配管を模したアスレチックや、三島公園の高低差を利用した芝スキー場など、この市ならではの遊具を作してほしいです。」

③スポーツ関連施設の整備（100 件）

多くの公園で安全上の理由から「ボール遊び」が制限されている現状を受け、子どもから中高生までが気兼ねなくスポーツに打ち込める専用スペースの確保を求める声が強く上がっています。

<寄せられた声の具体例>

「バスケットゴールが本当に少ないです。気軽に 3on3 ができるコートがあれば、若者の健全な

居場所になると思います。」

「ネットで囲われた、サッカーやキャッチボールが気兼ねなくできる広場がほしいです。」

「オリンピック競技にもなっているスケートボードができる場所や、テニスの壁打ちができる場所も作ってほしいです。」

④その他の多様な施設の要望（50 件）

子どもたちの遊び場に加え、乳幼児から高齢者まで、またペット連れの方など、多様な世代やライフスタイルに応えるさまざまな機能を持つ公園への期待も数多く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「夏場に無料で水遊びができる『じゃぶじゃぶ池』や噴水広場」

「犬を思い切り走らせられるドッグラン」

「手ぶらでも利用できる BBQ エリア」

「親が休憩できるおしゃれなカフェやキッチンカーの出店スペース」

「自転車の練習や交通ルールが学べる交通公園」

(2)既存施設の改善・拡充（計：320 件）

新しい施設への期待とあわせて、市民の皆様にとって最も身近な既存の公園について、日々の利用者ならではの切実かつ具体的な改善要望が多数寄せられました。特に、誰もが「当たり前」に快適で安全に利用できる環境の整備を求める声や、費用をかけて行われた改修が必ずしも利用者の期待に沿うものではなかった、という指摘もありました。

①利便性・快適性の向上（トイレ、日陰、駐車場など）（175 件）

公園の印象や滞在時間を左右する「トイレの清潔さ」、夏の熱中症対策に不可欠な「日陰の確保」、週末に多く聞かれる「駐車場の不足」など、公園を利用する上での基本的な環境整備を求める声が非常に多く、公園の満足度を左右する重要な要素であることがうかがえます。保護者が安心して快適に過ごせる工夫も重要である、との指摘もありました。

<寄せられた声の具体例>

【トイレについて】

「公園のトイレが古く、子どもが使いたがらないことがあります。誰もが安心して使える清潔な洋式トイレにしてほしいです。」

「特に土居方面の公園では和式トイレが多く、使いづらいと感じます。トイレが綺麗なことは、公園を選ぶ上でとても大切です。」

「おむつ替え台のある広い多目的トイレは、子育て世帯にとって必須の設備ですので、設置を強くお願いします。」

【日陰・休憩場所について】

「夏は日差しが強いため、子どもを見守る保護者の熱中症対策としても、木陰だけでなく、東屋や屋根付きのベンチが絶対に必要です。」

「夏場は遊具自体が日光で熱くなり、火傷が心配で遊ばせられないことがあります。日除けの設

置をお願いします。」

「子どもを見守りやすいよう見通しを良くしたり、休憩できるベンチを増やしたりするなど、保護者が安心できる工夫が非常に重要です。」

【駐車場・アクセスについて】

「人気の公園は土日ですぐ駐車場が満車になり、路上駐車せざるを得ない状況です。安心して利用できるよう駐車場を広げてほしいです。」

「三島公園の遊具は良いのですが、駐車場から急な坂道を登る必要があり、小さな子供を連れていと負担が大きいです。アクセスの改善も考慮してほしいです。」

【その他設備について】

「飲料の自動販売機や、ゴミを捨てられるゴミ箱の設置も検討してほしいです。」

②遊具への不満と安全性確保（145 件）

遊具の更新が利用者の満足度向上に必ずしも繋がっておらず、期待とは異なり遊具が「小さくなった」「単調になった」といった意見も寄せられました。また、年齢の違う子どもたちが混在して遊ぶ際の危険性を回避するため、遊具エリアを物理的に分ける「ゾーニング（区分け）」を求める声も非常に多く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

【リニューアルへの意見】

「三島運動公園や やまじ風公園の遊具が、リニューアルで以前より小規模なものになり、小学生以上の子どもには物足りなく感じます。」

「費用をかけて更新するのですから、以前よりもっと魅力的で、子どもたちがわくわくするような遊具にしてほしかったです。」

「伊予三島運動公園の新しい遊具が公園全体の規模に見合っていないように感じ、少し残念に思いました。」

【安全性の確保（ゾーニング）】

「小さいお子さんが遊んでいる横を、小学生が走り回るとヒヤリとすることがあります。」

「幼児用エリアと小学生用エリアを柵などでしっかりと分けて、それぞれの子どもたちが安心して遊べるようにしてほしいです。年齢で遊ぶ場所を明確に区分けしてください。」

【安全性の確保（その他）】

「三島公園のタコの滑り台の階段は、私の幼少期から変わらず危険です。足が挟まって大けがした知人もいます。早急に改修すべきです。」

「駐車場から公園までの間で、子どもが道路に飛び出す危険を感じます。安全対策としてフェンスを設置するなどの工夫があると助かります。」

(3)公園の配置とあり方（計：160 件）

個別の施設の改善要望に加えて、市全体の公園のあり方や整備計画といった、より大きな視点からの意見も多数寄せられました。「誰のための、どこにある公園なのか」という根本的な問いかけと共に、公園の配置が特定の地域に偏っているのではないかと、という公平性の観点からの指摘もありました。

①公園配置の地域間格差の是正（105 件）

「子どもが歩いて行ける身近な場所に公園がない」という切実な声が、市内各地から寄せられました。特に、公園が川之江・三島地域の一部の地域に多く整備されている一方で、他の地域では不足しているのではないかと、との意見が多く、「車がないと公園に行きづらい」現状が、子育て世帯や高齢者の方々にとって大きな負担となっている、との指摘がありました。

<寄せられた声の具体例>

【地域による整備状況の差について】

「公園整備が川之江・三島地域に偏りすぎています。妻鳥、金生、寒川、松柏、関川、豊岡、山田井など、人口が多い住宅街に子どもが気軽に集まれる公園が全くありません。」

「川之江にばかり偏りすぎです。他の地域の子育て環境との差が大きいと感じます。」

【徒歩圏内の公園を求める声】

「車がないと公園に行けないのは大変です。特に松柏地域などでは、小学生が自分たちだけで行ける場所がなく、すべて大人の送迎が必要になります。」

「大きな公園も良いですが、日常的に使える場所がほしいのです。子どもだけで歩いて行ける近所の公園を、小さなものでも良いので各校区に整備を進めるべきです。」

【特定地域からの切実な意見】

「金生第二区域に住んでいますが、子どもたちが遊ぶ公園や施設が一切ありません。周りでは工場が増えるたびに『公園がほしい』という声が上がっています。」

「土居地域には安心して遊ばせられる公園がありません。ヘビや猿への注意喚起の看板が多く、子どもを連れて行くのをためらってしまいます。」

②公園のコンセプト・役割に関する提案（55 件）

公園を単なる遊び場としてだけでなく、防災、観光、市民交流といった多様な機能を持つ「まちづくりの拠点」と位置づけてはどうか、という未来を見据えた戦略的な提案も寄せられました。その中では、「予算を集中させて市を代表するような公園を一つ作るべき」という意見と、「各公園にそれぞれの特色や役割を持たせるべき」という意見の両方が見られました。

<寄せられた声の具体例>

【整備戦略・ビジョンについてのご提案】

「中途半端な公園をあちこちに作るより、予算を一点に集中して、誰もが『行きたい!』と思うような四国一の公園を一つ作るべきです。市外から観光客を呼べるような、市の自慢の顔となる公園がほしいです。」（一点集中案）

「一番公園を利用するのは子育て世代の親子なので、その意見を優先すべきです。幼児向け、小学生向け、大人向けなど、場所によって役割分担を明確にすることで、全ての世代が満足できるのではないのでしょうか。」（分散・役割分担案）

【防災・交流拠点としてのご提案】

「災害時には避難場所や炊き出し拠点として機能する『防災公園』として整備してはどうでしょうか。」

「イベントにも使用しやすいよう、フリーマーケットの出店車両やキッチンカーが乗り入れできるようなスペースも確保してほしいです。」

【市の特色を活かしたアイデア】

「閉鎖された工場跡地を、産業遺産として活かしたユニークな公園にすれば、市外からも人を呼べる市の新しいシンボルになると思います。」

(4)その他（管理・運営、まちづくり等）（計：70 件）

公園という枠組みにとどまらず、日々の管理・運営に関する具体的な課題から、市政全般の優先順位や市民参加のあり方に至るまで、行政の姿勢に関する貴重な意見が多数寄せられました。

①管理・運営への意見（36 件）

ペットのマナーや野生動物の出没といった安全面での不安、公園の利用ルールに関する質問など、日常的な管理体制の強化を求める声が上がりました。また、市民の皆様と行政が協力する仕組み（市民協働）や、利用目的ごとのエリア分けといった具体的な解決策の提案もありました。

<寄せられた声の具体例>

【ペットのマナー問題】

「犬の糞の放置やノーリードといったマナー違反がひどいです。看板を設置するだけでなく、パトロールや指導を強化してほしいです。」

「ペット連れ OK なエリアと、アレルギーの子どもなども安心して遊べるエリアを分けてほしいです。犬も一緒に連れて行きたい層のニーズも拾ってほしいです（有料でも構いません）。」

【安全・環境問題】

「やまじ風公園で猿を実際目撃し、怖くて行けなくなりました。安心して子どもを遊ばせることができません。遊具の老朽化も心配です。」

【利用ルールの疑問】

「川之江にぎわい広場は『ボール遊び禁止』など禁止事項が多く、一体何をして過ごせばよいのでしょうか。」

【市民協働の提案】

「市民が自発的に行うゴミ拾いなどのボランティア活動を、行政が支援する仕組みは作れないでしょうか。」

②行政への期待・まちづくりへの提言（34 件）

公園整備の重要性に触れつつも、商業施設の誘致など、より広い視点からの市の活性化策を望む声や、行政の意思決定プロセスに関する意見も寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

【まちづくりの優先順位への意見】

「公園もいいですが、ショッピングモールや映画館はできないのでしょうか。人が集まり、雇用が生まれる施設を誘致する方が、市の活性化には効果的です。」

【意思決定プロセスへの意見・ご提言】

「子育て世代の若い職員や、一般のお母さんの意見をもっと聞いてほしいです。子どものいない方が当事者感覚なく適当に考えないでください。」

「0 歳（保護者）～18 歳位の声を政策決定に反映させて欲しいです。子育て世代への投資こそが、未来への投資です。」

【市の将来への強い思い】

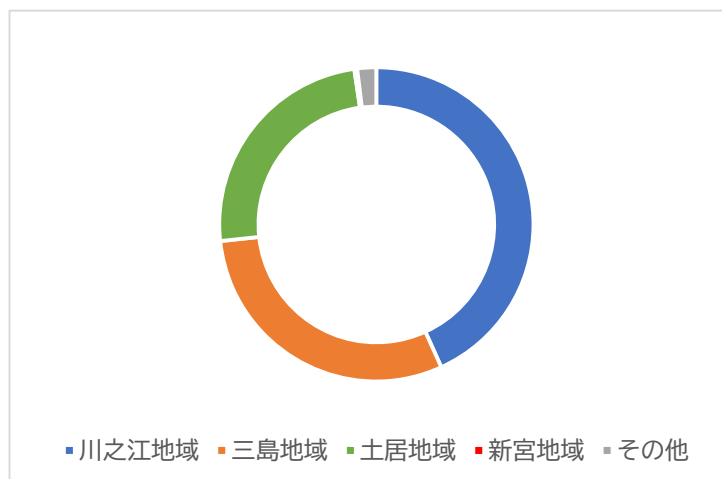
「早急に子供たちにもっと目を向けないと、市の存続が危ぶまれます。私の同年代がどんどんこの街を見限って市外へ転出しています。」

「『人口増＝子育て世代が住みたくなる街』を本気で目指すなら、四国中央市にはまだ“決定打になる公園”が足りていません。」

Ⅲ. アンケート調査結果(小学生)

1. どこに住んでいるか教えてください。

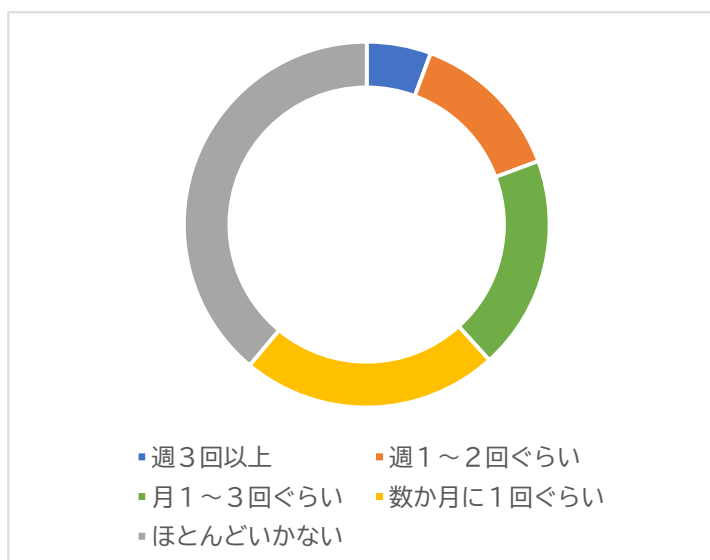
かわのえちいき 川之江地域	600
みしまちいき 三島地域	418
どいちいき 土居地域	340
しんぐうちいき 新宮地域	4
その他	27
計	1389



回答者は川之江地区、伊予三島地区の小学生が中心で、両地区で全体の約 7 割を占めています。中学生以上のアンケートの回答者分布と概ね同様の傾向です。市の人口比に比べると土居地区の回答がやや少ないものの、このアンケートは市内の小学生の意見を幅広く集めたものとして、参考に値するデータと言えます。

2. 公園にどのくらい行きますか？

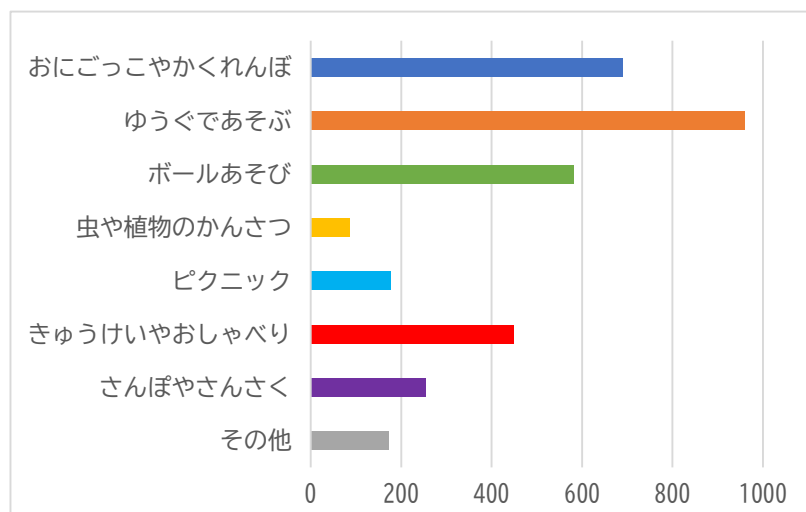
週3回以上	79
週1～2回ぐらい	190
月1～3回ぐらい	263
数か月に1回ぐらい	316
ほとんどいかない	541



「数か月に1回程度」(22.7%)と「ほとんどいかない」(38.9%)を合わせると約6割(61.6%)に達します。保護者層のアンケート結果と同様の傾向であり、子どもたちにとっても公園が日常的な遊び場になりきれていない実態がうかがえます。習い事やゲーム、屋内施設など、公園以外の活動の選択肢が増えていることも一因と考えられます。

3. 公園でどんなことをしますか？<いくつでも>

おにごっこやかくれんぼ	691
ゆうぐであそび	959
ボールあそび	581
むし しよくぶつ 虫や植物のかんさつ	86
ピクニック	177
きゅうけいやおしゃべり	450
さんぽやさんさく	253
その他	172



「遊具で遊ぶ」が 959 件で最も多く、次いで「鬼ごっこやかくれんぼ」（691 件）、「ボール遊び」（581 件）と続きます。

保護者層の回答「子どもの遊び」を、より具体的にした内容です。子どもたちにとっては、特定の遊具だけでなく、自由に走り回れる「広場」の機能も同等に重要であることが分かります。

4. 四国中央市または四国中央市以外で好きな公園の名前とその理由を教えてください。

○市内

順位	公園名	件数
1	浜公園	238
2	三島公園	126
3	やまじ風公園	118
4	伊予三島運動公園	100
5	森と湖畔の公園	47
6	川之江ふれあい交流センター	47
7	新田公園	25
8	住吉公園	20
9	関川河川敷ふるさと広場	18
10	西川原公園	14

○市外

順位	公園名	所在地	件数
1	滝の宮公園	新居浜市	115
2	まんのう公園	まんのう町	42
3	ヤドン公園	綾川町	10
4	山根公園	新居浜市	6
5	黒島海浜公園	新居浜市	5

回答数が特に多かった市内・市外それぞれの上位となった公園について、その「好きな理由」として挙げられた主な内容を報告します。

(1)市内

【1位】浜公園

小学生からの回答においても、リニューアル後の「遊具の魅力」と、他にはない「スポーツ機能」が主な理由として挙げられています。

<好きな理由 1位：遊具の魅力> (70件)

「遊具がたくさんあって楽しい」「大きくて面白い」といった、遊具の豊富さや規模に関する声が最も多く寄せられました。特に「大きい滑り台」や「ブランコ」など、更新された大型複合遊具が人気を集めていることがわかります。

<好きな理由 2位：スポーツ・運動機能> (45件)

「バスケットゴールがあるから」という理由が突出して多く、ミニバスの練習場所として利用しているという具体的な声も見られました。市内の他の公園にはないこの施設が、小学生に高く評価されています。

<その他の主な理由>

上記の二大理由に加え、「海が見えて景色がきれい」「夕日がきれい」といった景観の良さも人気の理由でした。また、「家から近い」「友達と会える」など、子どもたちの生活に身近な公園であることも、好まれる要因となっているようです。

【2位】三島公園

小学生の回答においても、市民に永く親しまれている「タコの滑り台」という象徴的な遊具への愛着と、公園の広さが主な理由として挙げられています。

<好きな理由 1位：遊具の魅力> (88件)

「タコの滑り台が楽しいから」という意見が突出して多く、「タコ公園」といった愛称で親しまれている様子がうかがえます。「タコの足がすべり台になっている」「中が迷路みたいで面白い」など、この遊具ならではの楽しさを挙げる声が多数見られました。その他、「遊具がいっぱいある」「最近新しくなった遊具が楽しい」「アスレチックがある」といった、遊具の豊富さや更新も人気の理由となっています。

<好きな理由 2位：公園の広さ・解放感> (21件)

「広くて遊びやすい」「芝生が広い」といった、公園の広さに関する声が非常に多く寄せられました。この広さを活かして「鬼ごっこやボール遊びがしやすい」「走ったりできる」など、子どもたちがのびのびと遊べる点を理由として挙げる意見が目立ちます。

<その他の主な理由>

「家から近い」といったアクセスの良さや、「遠足で行くから」といった学校生活との結びつきから親しみを感じている声も挙がりました。また、「景色がきれい」「虫がたくさんいる」など、景観や自然環境も理由の一部として挙げられています。

【3位】やまじ風公園

小学生の回答においても、この公園の代名詞である「遊具の魅力」、特に長い滑り台が圧倒的な支持を集めています。

<好きな理由 1位：長いローラー滑り台> (25件)

「長い滑り台が楽しい」「大きなすべり台が面白い」という理由が、回答の大部分を占めまし

た。「ちょー楽しい!」「ハラハラドキドキが味わえる」といった声から、そのスリルと楽しさが伝わってきます。また、「四国中央市に（他に）大きな滑り台がないから」という意見もあり、他の公園にはない遊具があることが最大の魅力となっています。

<好きな理由 2 位：ターザンロープなどの遊具>（5 件）

長い滑り台に次いで、「ターザンロープがあるから」という声が複数挙げられました。これも人気の高い遊具であるようです。その他、「遊具がいっぱいある」「好きな遊具ばかり」といった、遊具の豊富さも理由として挙げられています。

<その他の主な理由>

高台という立地特性から「景色が良い」「眺めがいい」といった景観の良さや、「歩いたり、走ったりする場所がある」「広い」といった、体を動かせる環境も評価されています。また、「家から近い」というアクセスの良さや、「保育園の遠足で行った」という思い出を理由に挙げる声もありました。

【4 位】伊予三島運動公園

伊予三島運動公園は、その広大な敷地を活かした多様な遊び方ができる点が最大の魅力として小学生に支持されています。特定の遊具が突出して人気というよりは、体を思い切り動かせる環境や施設の総合力が高く評価されています。

<好きな理由 1 位：公園の広さ・多目的性>（36 件）

「広くて遊びやすい」「走れるから」という声が最も多く集まりました。「鬼ごっこやボール遊びができる」「運動やスポーツができる」といった、広さを活かしてのびのびと遊べる点を挙げる意見が多数を占めています。「コース一周で何mか書かれていて走りやすい」という声もあり、運動施設としての機能も評価ポイントとなっています。

<好きな理由 2 位：遊具の魅力>（27 件）

「新しい遊具であそべる」といった、遊具の存在や更新を喜ぶ声が一定数集まりました。

<その他の主な理由>

上位の理由のほかにも、「プールがある」「自転車の練習ができる」「家から近い」といった、施設の充実度、独自の利用方法、アクセスの良さなどが理由として挙げられています。

【5 位】森と湖畔の公園

「森と湖畔の公園」は、その名の通り豊かな自然と、体を動かして遊べる遊具・広場がバランス良く共存している点が、小学生から高く評価されています。

<好きな理由 1 位：遊具の魅力>（17 件）

現在利用中止になっていますが、最も多くの支持を集めたのは遊具の楽しさです。「遊具が大きくて楽しい」「面白い遊具がある」といった声が多数寄せられました。特に「タコミたいな遊具」「ロープを登ったりして楽しい」「大きいすべり台」など、特徴的な大型遊具やアスレチック要素が子どもたちの冒険心をくすぐっているようです。「遊具があって芝生になっているから転んでも痛くない」という、安全性への言及も見られました。

<好きな理由 2 位：自然・景観の豊かさ>（12 件）

公園の名前にもなっている自然環境も大きな魅力です。「湖があってきれい」「緑豊かでスッキリする」といった景観の美しさや、「生き物がたくさんいて自然を感じられる」という声が集ま

りました。また、「春は桜がきれいでお花見にピッタリ」「秋はどんぐりや松ぼっくりが拾える」など、四季折々の自然とふれあえる点を評価する意見も多く、学びの場としても機能していることがうかがえます。

<その他の主な理由>

上位の理由のほかにも、「広くて鬼ごっこができる」「釣りができる」「キャンプができる」といった、広大な敷地やこの公園ならではのアクティビティを理由として挙げる声もありました。

(2)市外

【1位】滝の宮公園（新居浜市）

市外の公園でありながら、調査対象の小学生から115人もの支持を集めたのが新居浜市の「滝の宮公園」です。その人気は「遊具の圧倒的な魅力」にほぼ集約されており、子どもたちの「行きたい公園」の代表格となっていることがうかがえます。

<好きな理由 1位：圧倒的な遊具の魅力>（33件）

人気の理由は、遊具の「数・規模・多様性」が揃っている点に集約されます。「遊具が豊富で飽きない」「長い滑り台などスケールが大きい」といった声が多数寄せられました。また、「アスレチックで全身を使って遊べる」点や、「小さい子から大きい子まで楽しめる」点も高く評価されており、市内の公園にはない魅力が子どもたちの心を強く掴んでいます。

<好きな理由 2位：広さ・多目的性>（5件）

遊具の魅力に次いで、「広くて鬼ごっこもできる」「散歩ができる」といった、広大な敷地を活かした遊び方ができる点を挙げる声もありました。

<その他の主な理由>

上記以外では、「虫取りができる」「動物がいて癒やされる」といった自然環境や、「近くにアイス屋さんやコンビニもある」といった利便性を評価する意見も見られました。

【2位】国営讃岐まんのう公園（香川県まんのう町）

滝の宮公園と並び、市外の公園として絶大な人気を誇るのが香川県の「国営讃岐まんのう公園」です。その魅力は多様なアクティビティと季節ごとのイベントにあることが特徴です。

<好きな理由 1位：冬のイルミネーション>（11件）

最も多くの支持を集めたのは、冬の季節限定イベントであるイルミネーションでした。「イルミネーションがきれいだから」「冬になるとイルミネーションがあるから」といった声が多数寄せられており、この公園ならではの特別な体験として子どもたちの心に強く刻まれているようです。

<好きな理由 2位(同率)：サイクリング>（9件）

イルミネーションと僅差で人気だったのがサイクリングです。「サイクリングができるから」「自転車で走れるコースがあるから」など、広大な敷地を活かした本格的なアクティビティとして高く評価されています。

<好きな理由 2位(同率)：遊具の魅力>（9件）

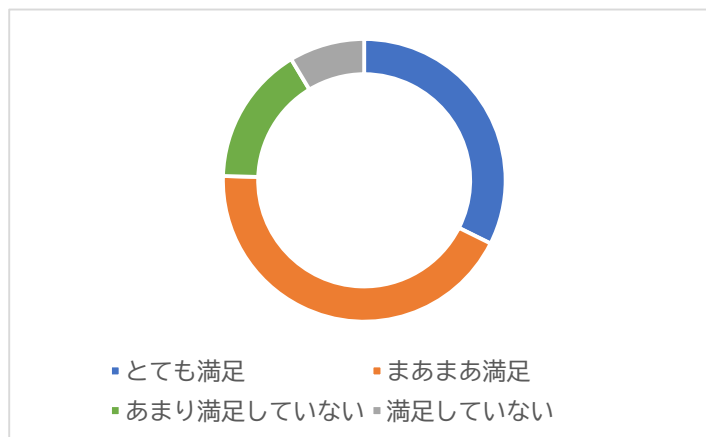
遊具も根強い人気があり、「いろんな遊具があって楽しい」という声のほか、「ふわふわドーム（トランポリン）があるから」「縄系の遊具が楽しかった」など、特に「飛び跳ねて遊べる」ユニークな大型遊具が支持を集めていました。

<その他の主な理由>

上記に加え、「めちゃくちゃ広くて飽きない」(5 件)という広さそのものや、「イベントやマルシェが楽しい」(4 件)、「キャンプや昆虫観察ができる」(4 件)など、一日中楽しめる総合公園としての多機能性が人気の理由として挙げられました。

5. 四国中央市の公園にある遊具に満足していますか？

とても満足	447
まあまあ満足	595
あまり満足していない	219
満足していない	119

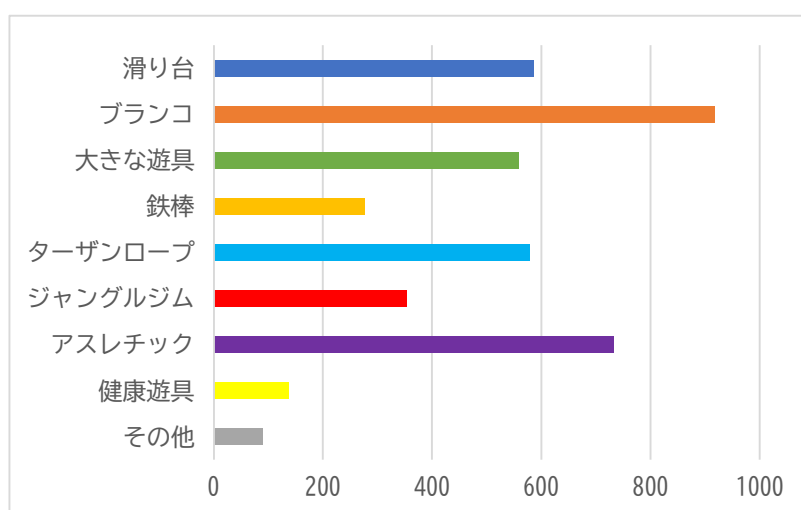


「満足（とても＋まあまあ）」が75.5%を占め、「不満（あまり＋全く）」は24.5%にとどまりました。

保護者層の満足度（54.1%）と比べて、子ども自身の満足度は非常に高い結果です。子どもたちは今ある環境の中で楽しみを見つけることに長けている一方、保護者は安全性などを含め、より高いレベルを求めているという意識の差が見られます。

6. 好きな遊具、よくあそぶ遊具はどれですか？<いくつでも>

・ ^{すべりだい} 滑り台	586	・スレチック(ロープ、ネットなど)	731
・ブランコ	917	・ジャングルジム	354
・いろいろな ^{ゆうぐ} 遊具がくっついた ^{おおきなゆうぐ} 大きな遊具	558	・ ^{けんこうゆうぐ} 健康遊具	137
・ ^{てつぼう} 鉄棒	276		
・ターザンロープ	579	・その他	90



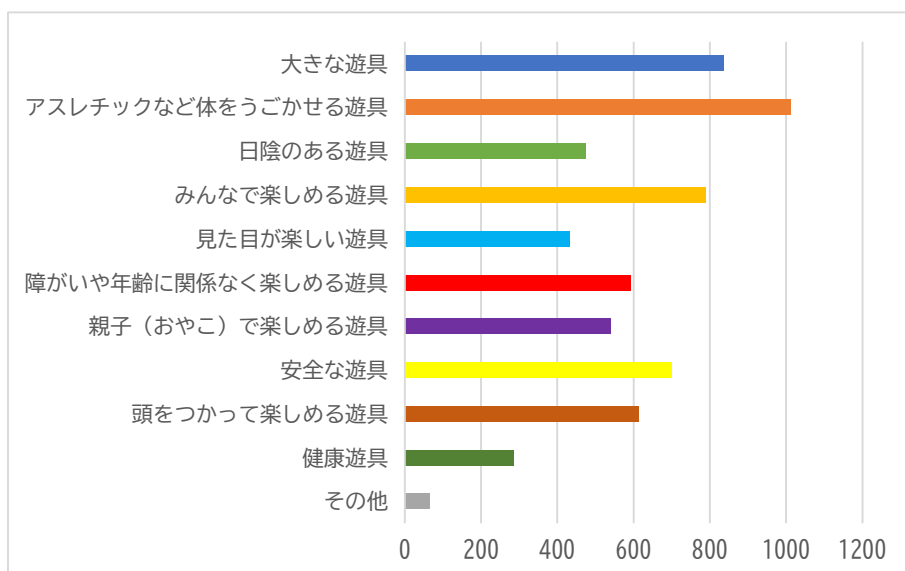
小学生に人気の遊具は、定番の「ブランコ」に加えて、「アスレチック」のような挑戦的な遊具であることが分かりました。

アンケートでは「ブランコ」(917 件) が最も人気を集めました。同時に「アスレチック」(731 件) や「ターザンロープ」(579 件) のように、体をダイナミックに動かせる遊具も上位に入っています。

この結果から、子どもたちは大人が思う以上に、スリルがあって挑戦できる遊びを好む傾向があるようです。今後の公園づくりでは、安全性はもちろんのこと、子どもたちの「やってみたい！」という冒険心を刺激する要素を取り入れることが重要であることがわかりました。

7. 新しい遊具は、どんなものがいいと思いますか？<いくつでも>

・大きな遊具	835	・見た目が楽しい遊具	432	・頭をつかって楽しめる遊具	613
・アスレチックなど体をうごかせる遊具	1012	・障がいや年齢に関係なく楽しめる遊具	591	・健康遊具	285
・日陰のある遊具	473	・親子で楽しめる遊具	540	・その他	65
・みんなで楽しめる遊具	790	・安全な遊具	700		



「アスレチックなど体を動かせる遊具」（1,012 件）、「大きな遊具」（835 件）が上位を占めました。

現状への満足度は高いものの、より挑戦しがいのある、ダイナミックな遊具への潜在的な欲求は非常に強いことが分かります。この結果は保護者層のニーズとも一致しており、大型アスレチック遊具の導入は両世代の期待に応える施策と言えます。

8. 公園で「もっとこうしてほしい」と思うことはありますか？

(1)遊具に関する意見（計 201 件）

他の項目を大きく引き離して最も多くの意見が寄せられたのが、遊具に関する内容です。「もっと挑戦したい」という気持ちに応えるダイナミックな遊具への要望と、年齢に応じた遊び場の確保という、安全性への配慮を求める声が多数届いています。

<寄せられた声の具体例>

【もっと面白くてスリルのある遊具がほしい！】

「アスレチックみたいな、体をいっぱい動かせる遊具を作してほしい！」

「ターザンロープや、すごく長くて急な滑り台、直角に近い滑り台がほしいです。」

「鬼ごっこや隠れんぼができるような、複雑で大きい遊具があったらもっと楽しい。」

「やまじ風公園の大きな遊具を元に戻してほしいです。新しいのは小さい子向けでつまらないです。」

【高学年でも楽しめるようにしてほしい！】

「小さい子向けの遊具ばかりなので、高学年でも楽しめる難しい遊具を増やしてほしい。」

「伊予三島運動公園の遊具が小さい子用になったので、高学年用の遊具と小さい子用の遊具を分けてほしい。ぶつかると危ないです。」

「ブランコはもっと高くこげるようにしてほしい。」

これらの意見から、多くの子どもたちが現在の遊具に物足りなさを感じており、年齢や体力に合わせて思い切り挑戦できる、魅力的な遊び場を強く求めていることが分かりました。

(2)スポーツや利用ルールに関する意見（計 98 件）

遊具に次いで、「ボール遊びができる場所」に関する意見が多数寄せられました。また、公園をみんなが気持ちよく使うためのルールや、様々な人が楽しめるためのアイデアも寄せられています。

<寄せられた声の具体例>

【スポーツができる場所がほしい！】

「サッカーやドッジボールなど、ボールを使った遊びができる広い場所がほしいです。」

「バスケットゴールを増やしてください。小学生用の低いリングも作ってほしいです。」

「野球やキャッチボールができる場所がほしい。」

「リップスティックやスケボー、自転車の練習ができる専用の場所をつけてほしい。」

【みんなが使える公園にしてほしい！】

「障がいを持っている人でも楽しめる公園があったらいいと思います。」

「犬も一緒に行けるように、ドッグランと子どもが遊ぶところは分けてほしい。」

「雨の日でも遊べるように、屋根がついている場所がほしい。」

【管理について】

「ゴミが多いから、遊ぶ人がちゃんと持って帰るようにしてほしい。ポイ捨てをやめてほしいです。」

「ケンカなどのトラブルがないように、みんなが仲良く使えるルールを作してほしい。」

友達とチームで体を動かせる場所が不足しているという課題と共に、多様な人々やペットも一緒に、安全・快適に過ごせる空間づくりが求められていることがわかります。

(3) 設備や環境に関する意見 (計 72 件)

「トイレ」の清潔さや、「日陰」「自動販売機」といった、公園で快適に過ごすための基本的な設備に関する改善要望も多く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

【トイレについて】

「トイレをきれいにしてほしいです。暗くて怖いし、臭いのは嫌だから、明るくしてほしい。」

「和式のトイレは使いにくいので、洋式にしてほしいです。」

「虫がたくさんいて怖いので、なんとかしてほしい。」

【休憩スペースやその他設備について】

「夏は日差しが強すぎて遊具が熱くなるから、日陰を増やしてほしい。屋根のあるベンチがたくさんほしいです。」

「のどが渇いたときにすぐ買えるように、ジュースの自動販売機を置いてほしい。特にアイスの自販機があったら嬉しいです。」

「水道の場所を増やしてほしい。砂場で遊んだ後すぐに手を洗いたいです。」

「Wi-Fi が使えるようにしてほしい。」

安全・快適に過ごすための基本的な環境整備が、子どもたち自身にとっても公園の魅力を左右する重要な要素であることが示されました。

(4) 公園の場所 (配置) に関する意見 (計 47 件)

「そもそも家の近くに遊べる公園がない」という、公園の数や場所に関する切実な声も、具体的な地域名を挙げて多数寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

【歩いて行ける公園がほしい！】

「長津地域に公園が欲しいです。サッカーができる広い公園がほしい。」

「妻鳥町にもっといっぱい楽しい公園を設置してほしいです。」

「金生は公園が少ないので増やしてほしいです。遊ぶところがなくて悲しいです。」

「土居地域にも、もっと公園をたくさん作ってほしいです。」

「もっと身近な場所に遊べる公園がほしいです。」

子どもたちが自分たちの足で、友達と気軽に集まれる場所が身近にないという課題が、一部の地域で特に強く認識されていることがわかります。

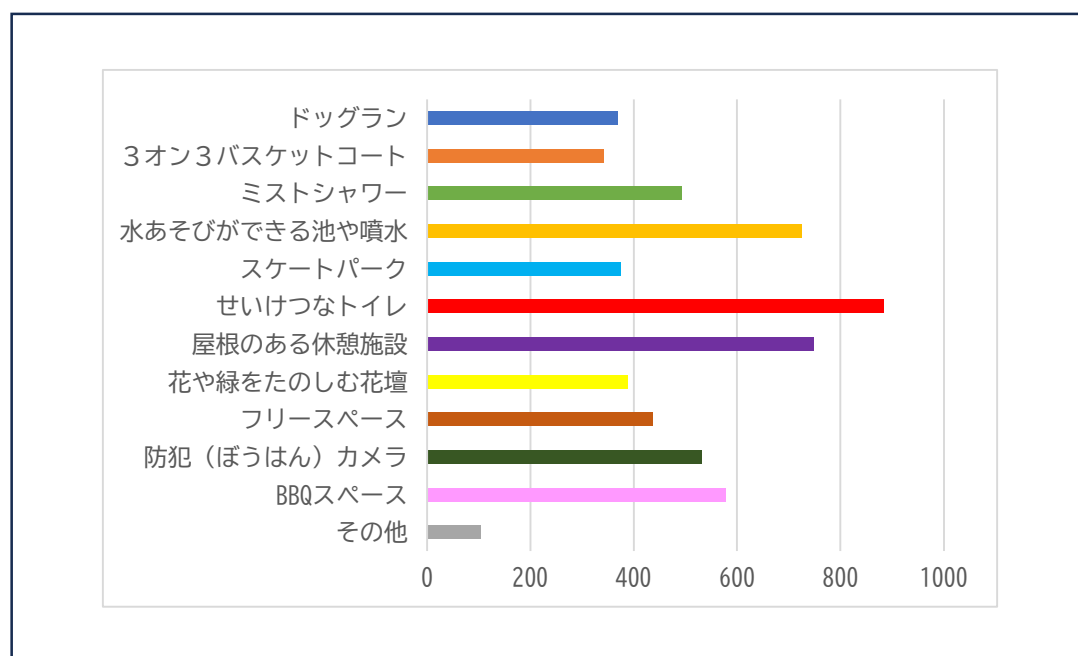
(5)まとめ

今回の小学生の皆さんからのアンケート結果からは、特に以下の点について強い要望が寄せられていることがわかりました。

- ・高学年でも満足できる、挑戦的でダイナミックな遊具の設置（201 件）
- ・サッカーやバスケットボールなど、ボール遊びができる広い場所や専用施設の確保（98 件）
- ・清潔なトイレや、夏場でも過ごしやすい日陰・休憩スペースの設置（72 件）
- ・「家の近く」に、子どもたちが歩いて行ける公園の整備（47 件）

9. あたらしく公園^{こうえん}にあったらいいとおもう施設^{しせつ}をおしえてください。<いくつでも>

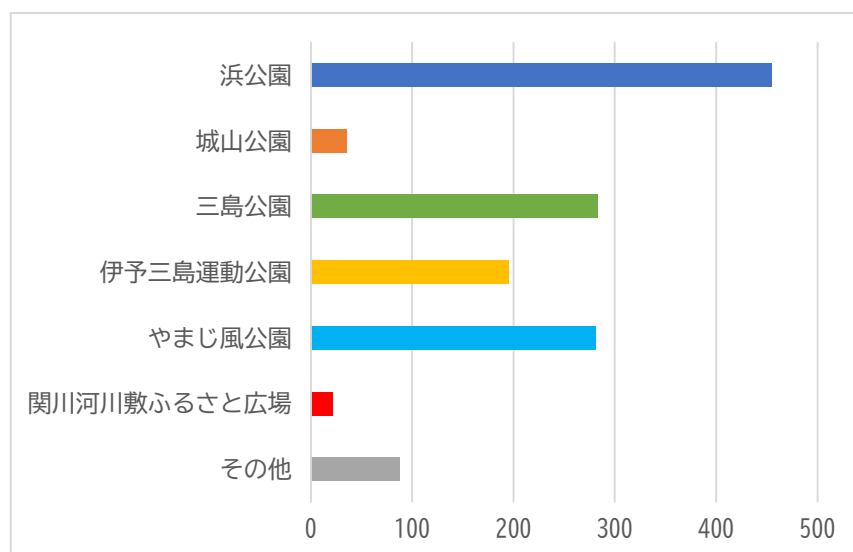
・ドッグラン	369	・屋根のある休憩施設 ^{やね きゅうけいしせつ}	747
・3オン3バスケットコート	342	・花や緑をたのしむ花壇 ^{みどり かだん}	388
・ミストシャワー	492	・イベント等に利用できるフリースペース	436
・水あそびができる池や噴水 ^{ふんすい}	725	・防犯カメラ ^{ぼうはん}	531
・スケートパーク	374	・BBQ をしてもいいスペース	577
・せいけつなトイレ	883	・その他	103



「せいけつなトイレ」（883 件）が最も多く、次いで「屋根のある休憩施設」（747 件）、水遊びができる池や噴水」（725 件）と続きます。トイレの清潔さは、大人だけでなく子どもにとっても非常に重要な問題であることが明確になりました。また、夏場に楽しめる「水遊び場」は子どもならではの強いニーズであり、公園の魅力を大きく高める要素となりえます。

10. 四国中央市の顔と思う公園をひとつおしえてください。

はまこうえん 浜公園	455
しろやまこうえん 城山公園	35
みしまこうえん 三島公園	283
いよみしまうんどうこうえん 伊予三島運動公園	195
やまじかぜこうえん やまじ風公園	281
せきがわかせんしき 関川河川敷ふるさと広場	21
その他	87



「浜公園」が455件と、2位の「三島公園」(283件)に差をつけ支持を集めました。小学生にとって、四国中央市を代表する公園は「浜公園」であるという認識が圧倒的に強いことが明確になりました。

11. こんな公園があればたのしそう！というアイデアがあればぜひ教えてください。(自由記述)

(1)新しい施設・機能への要望(計: 477件)

小学生の皆さんからは、「市外のすごい公園みたいに、もっとワクワクする公園を作ってほしい!」という、自分たちのまちの未来に向けた、ストレートで力強い期待が最も多く寄せられました。

①屋内・全天候型施設の設置(42件)

雨の日や暑い夏でも、天候を気にせず思い切り体を動かせる場所を求める、現実的な視点からの声も多く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「雨の日でも遊べる室内公園があったら、ゲームをしなくて済むのに…」

「夏は暑すぎて公園に行けないから、涼しい場所や、ミストが出る遊具がほしいです」

「体育館みたいな場所じゃなくて、ふわふわドームとかトランポリンがある屋内の遊び場がいい」

「やまじ風がふいても安全に楽しく遊べる全天候型施設があったらいいと思う。」

「夏は室内プールになって冬はアイススケートができる公園(スケートぐつの貸し借りあり)」

「冬でもあたたかい所で遊べる公園。」

②大規模で特徴的な屋外遊具の設置(253件)

現在の遊具では物足りないと感じており、スリルや達成感を味わえるような、より挑戦的でダイナミックな遊具を強く望む声が、他の項目を圧倒して最も多く寄せられました。特に「アスレ

チック」という言葉は100回以上登場しました。

<寄せられた声の具体例>

「でかーーーーーい遊具！！！！！！」

「SASUKE みたいなアスレチックがほしいです。サスケファンだから。そしたら毎日行く。」

「失敗したら池に落ちる公園」「水上アスレチック。絶対楽しいと思う！」

「空中アスレチックやジップラインがあったら楽しそう。」

「ふわふわドームを増やしてほしい！」「すごく長くて急な滑り台、ターザンロープは絶対に作ってほしいです」

「鬼ごっこや、かくれんぼができて、外からは見えない隠し通路がある大きな遊具」

「やまじ風公園の昔の遊具みたいに、すごく大きくて、迷路みたいな遊具を復活させてほしい。」

「ジェットコースターや観覧車などがある遊園地のような公園。」

「地面が全部トランポリンになっている公園。」

③スポーツ関連施設の整備（84件）

多くの公園でボール遊びが制限されている現状を受け、友達と気兼ねなくサッカーやバスケットボールなどに打ち込める専用スペースの確保を求める声が強く上がっています。

<寄せられた声の具体例>

「サッカーゴールやバスケットゴール（小学生リング）をいっぱいつくってほしい。」

「ボール遊びをしてもボールが道路へ飛んでいかなないように柵を作ると安全で楽しそう！！」

「ドッジボールコートがほしい」「思いっきりボール投げができる場所」

「リップスティックやスケボー、自転車の練習ができる専用の場所をつくってほしい。」

「テニスコートやバドミントンコートなど、ネットがあるスポーツができる公園。」

「広い芝生があって、自由に走り回ったり、鬼ごっこをしたりできる場所がほしい。」

④その他の多様な施設の要望（98件）

定番の遊具やスポーツ施設に加え、自然とのふれあいや非日常的な体験ができる施設、子どもたちの好きなものをテーマにしたユニークな公園への期待も数多く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「夏場に無料で水遊びができる『じゃぶじゃぶ池』や、床から水が出る噴水広場」

「動物ふれあい公園。うさぎとかモルモットとかとふれあいたい。」「虫や魚を捕まえられる場所があったらいいな」

「家族や友達とキャンプやバーベキューができる公園」

「ちいかわダラケの公園」「太鼓台関係の遊具」「謎解きができる遊具」「おばけやしき」

「駄菓子屋さんやアイス屋さん、ジュースの自動販売機がある公園」

「ものづくりができる工作室や、実験ができる理科室みたいな部屋がある公園」

「ゴーカートにのれる公園」

(2)既存施設の改善・拡充（計：104 件）

新しい公園への期待だけでなく、いつも使っている身近な公園を「もっと良くしてほしい」という、日々利用する小学生ならではの切実かつ具体的な改善要望も届いています。

①利便性・快適性の向上（トイレ、日陰、駐車場など）（61 件）

公園で楽しく過ごすための基本的な環境について、「トイレがきれいなこと」や「夏でも安心して遊べること」を求める声が非常に多く、子どもたち自身も公園の快適性を重視していることがうかがえます。

<寄せられた声の具体例>

「トイレをきれいに、洋式にしてほしい。暗くて虫がいて怖いのは嫌です。手洗い場にせっけんもほしい。」

「アスレチックの公園で、屋根のある休憩所があって、飲食スペースもあって、エアコンが付いている、清潔なトイレ」

「夏は遊具自体が日光で熱くなり、火傷が心配。日除けの設置をお願いします。」

「日陰がたくさん、無料の Wi-Fi と充電スポットがある公園」

「お母さんが休めるベンチや、自動販売機、水道をもっと増やしてほしい。」

「砂場であそんだあと、すぐに手を洗えるような水道が近くにあるといいなと思う。」

②遊具への不満と安全性確保（43 件）

「もっと遊具を増やしてほしい」というシンプルな要望に加え、年齢の違う子どもたちが一緒に遊ぶ際の安全を気遣う、思いやりのある意見も多く寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「人が多くて、遊具で遊べないから大きい遊具を増やしてほしい。」

「遊具が少なすぎます。ブランコ、鉄棒、滑り台、ジャングルジム、シーソーなど、基本的な遊具を全部そろえてほしい。」

「小さい子用と、大きい子用でべつでつくってほしいです。ぶつかるとあぶないから。」

「小さい子が安心して遊べるように、柵で囲まれたエリアを作してほしい。」

「すべり台の階段がこわいので、安全なものにしてほしい。」

(3) 公園の配置とあり方（計：70 件）

個別の施設の改善要望に加えて、「どこに公園があったらいいか」「どんな公園がいいか」といった、まち全体を見つめるような視点からの意見も寄せられました。

①公園配置の地域間格差の是正（22 件）

「子どもが歩いて行ける身近な場所に公園がない」という切実な声が、具体的な地域名を挙げて市内各地から寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「松柏小学校の近くに公園を作してほしい。」

「自分の家から歩いていける公園がほしい。車に乗らないと公園に行けないのは不便です。」

「山田井の近くにある公園」

「遊園地みたいにしてほしい。地区内に一つはほしい。」

「妻鳥町にもっといっぱい楽しい公園を設置してほしい。」

②公園のコンセプト・役割に関する提案（48 件）

公園を単なる遊び場としてだけでなく、誰もが一緒に楽しめ、市の特色を活かした「まちのシンボル」にしてほしいというアイデアも寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「最近外国人が観光しに来ることも増えたので、日本の文化や楽しさが少しでもわかるスペースを作ったら僕はいいと思う」

「たくさんの人が来て友達に喋れて友達になれそうな公園を作してほしい。」

「見た目で行きたいと思うような、カラフルでおしゃれな公園。」

「紙の町の特色を生かした、段ボールの迷路とか紙すき体験とかができる公園。」

「季節ごとにイベント（お祭り、クリスマス会など）をする公園。」

(4)その他（管理・運営、まちづくり等）（計：49 件）

公園という枠組みにとどまらず、安全な管理体制や利用者のマナー、そして「誰一人取り残さない」というまちづくりのあり方まで、子どもたちの素直な視点からの貴重な意見が寄せられました。

①管理・運営への意見（21 件）

公園で誰もが気持ちよく、そして安全に過ごすために、日々の管理や利用者みんなで守るルールについての具体的な意見が上がりました。

<寄せられた声の具体例>

「公園の管理者の小屋が子供を守る 110 番だったら不審者に襲われても駆け込めば安心できる」

「監視カメラがあってほしいです。いたずらや悪いことをする人がいなくなると思う。」

「ゴミをちゃんと捨てられるようにゴミ箱を置いてほしいし、ポイ捨てをする人がいなくなてほしい。」

「ケンカなどのトラブルがないように、みんなが仲良く使えるルールを作してほしい」

「壊れた遊具を早く直してほしい。」

②行政への期待・まちづくりへの提言（28 件）

公園が「誰もが笑顔になれる場所」であってほしいという、子どもたちの優しさと思いやりにあふれる意見が、未来のまちづくりへの大切なメッセージとして寄せられました。

<寄せられた声の具体例>

「障がいがあってもどんな年齢でも病気があっても遊べる公園」

「車いすの人でも遊べるようなバリアフリーの遊具があったらいいと思う。」

「小さい子も大きい子も、おじいちゃんもおばあちゃんも、みんなが楽しめる公園。健康遊具とかもあるといいな。」

「犬も一緒に行けるように、ドッグランと子どもが遊ぶところは分けてほしい」

「みんなの意見をよく聞いて、みんなが笑顔になれる公園を作ってください。」

IV. アンケート全体の総括

今回実施した公園に関するアンケート調査では、市民の皆様から多くの意見が寄せられ、市内公園の利用環境や遊び場に対するニーズ、課題の傾向が明らかとなりました。

特に、「基礎的な利用環境」「快適な滞在環境」「子どもが体を動かして遊べる環境」という3つの観点において、市民の期待と現状との間に一定のギャップが見られることが確認されました。

1. 公園利用の基盤となるトイレ環境への強い改善要望

アンケートにおいて最も多く寄せられたのが、公園トイレに関する意見でした。

特に、衛生面、設備の老朽化、安全性に関する指摘が多く、子育て世代を中心に「安心して利用できない」といった声が多く見られました。

トイレは公園を安心して利用するための基本的な設備であり、清潔性や安全性が確保されていない場合、公園全体の利用満足度にも大きく影響する要素であることがうかがえます。

今回の結果から、市内公園においては、トイレ環境の改善に対する市民ニーズが非常に高い状況が明らかとなりました。

2. 日陰・休憩スペースなど滞在環境へのニーズ

設備や環境に関する意見では、日除けやベンチ、テーブルといった休憩環境の不足に関する声が多く寄せられました。

特に近年の猛暑の影響もあり、

- ・ 日陰が少なく夏場は利用しにくい
- ・ 遊具が高温になり危険
- ・ 保護者が見守る場所が不足している

といった意見が見られ、公園で安心して過ごすための滞在環境の充実を求める声が多いことが確認されました。

公園は子どもが遊ぶ場であると同時に、保護者が見守りながら一定時間滞在する空間でもあることから、快適な休憩環境の有無が公園利用のしやすさに影響していることがうかがえます。

3. 小学生が楽しめる遊具環境への期待

遊具に関する意見では、

- ・ 遊具の種類や数の不足
- ・ 小学生が満足できる遊び場が少ない
- ・ リニューアル後に遊具の規模が小さくなった

といった意見が多く見られました。

また、保護者アンケートと小学生アンケートの双方において、

「大型遊具」や「アスレチック遊具」への関心が高いという傾向が確認されており、子どもたちが体を動かしながら挑戦できる遊び場へのニーズが存在していることがうかがえます。

現在の市内公園では幼児向け遊具が中心となっている公園も多く、小学生が主体的に楽しめる遊び環境の充実を望む声が一定数見られました。

4. 世代間の評価の違いと共通するニーズ

遊具に関する満足度では、小学生では現状に満足している割合が比較的高い一方、保護者層では安全性や快適性の観点から改善を求める声も多く見られました。

このことから、世代によって公園に求める視点には一定の違いがあることがうかがえます。一方で、

- ・ 清潔で安心して使えるトイレ
- ・ 日陰や休憩スペースなどの快適な環境
- ・ 子どもが体を動かして遊べる魅力ある遊具

といった点については、世代を問わず共通したニーズが見られました。

5. まとめ

今回のアンケート結果から、市内公園においては次のような課題やニーズの傾向が確認されました。

- ・ 公園利用の基盤となるトイレ環境の改善への強い要望
- ・ 猛暑時でも利用しやすい日陰や休憩スペースなど滞在環境へのニーズ
- ・ 小学生が体を動かして楽しめる大型・アスレチック遊具への期待

これらの結果は、市民が公園に対して求めている役割や、公園利用における課題の一端を示すものと考えられます。

今後の公園整備の検討にあたっては、これらの市民ニーズを参考とするとともに、利用実態や地域特性等を踏まえた基本方針を策定し、地域の価値向上に寄与する魅力的な公園整備を推進していきます。